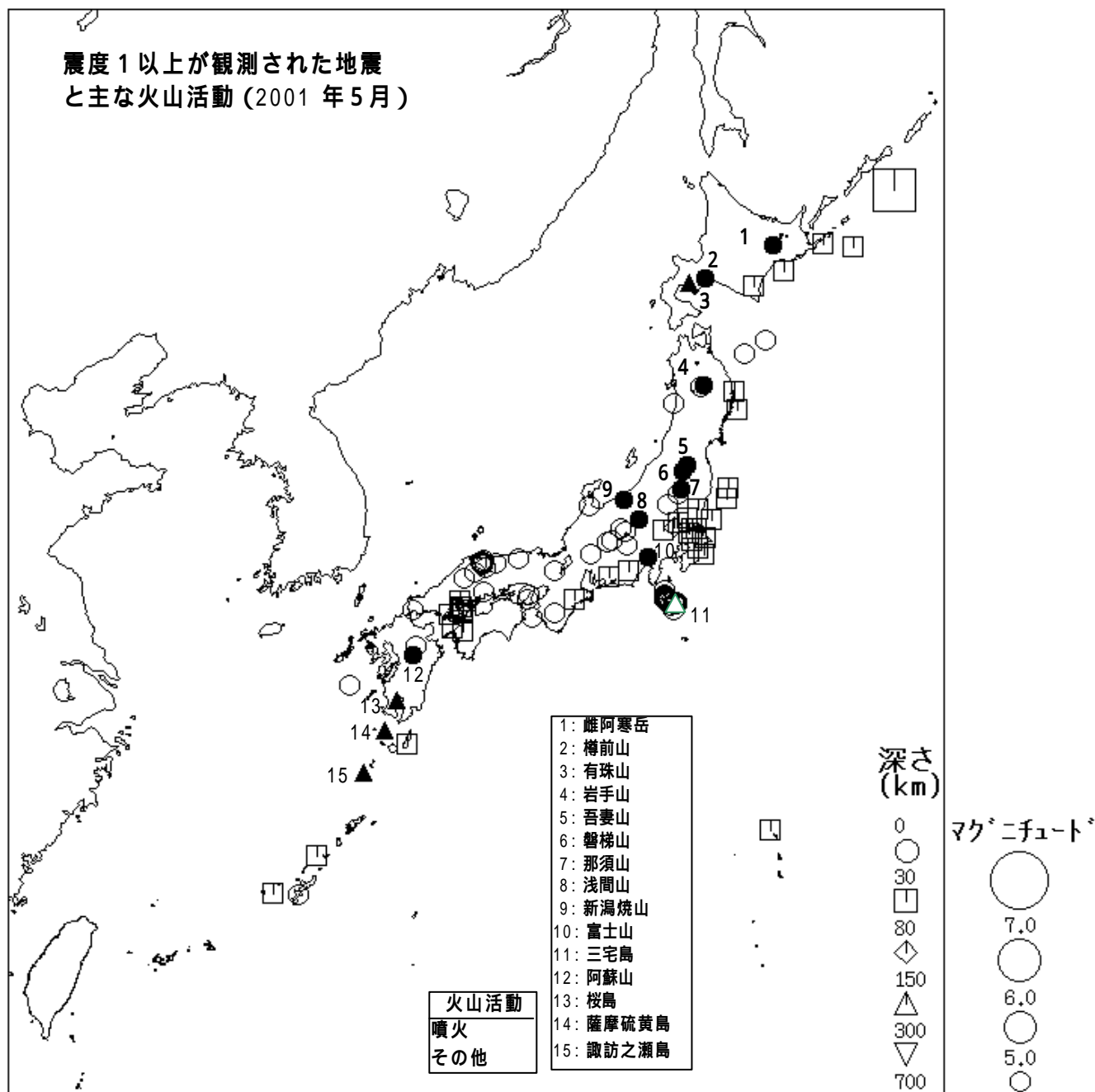


平成 13 年 5 月 地震・火山月報（防災編）

Monthly Report on Earthquakes and Volcanoes in Japan

May, 2001



気 象 庁

Japan Meteorological Agency

利用に当たって

本書は、地震・火山に関連した各種防災情報や地震・火山活動に関する分析結果の最新版を防災機関等における効果的な利用に供するため、毎月刊行している。

気象庁では、平成9年11月10日より、国・地方公共団体及び住民が一体となった緊急防災対応の迅速かつ円滑な実施に資するため、気象庁の震度計の観測データに合わせて地方公共団体*から提供されたものも震度情報として発表している。

また、気象庁では、地震防災対策特別措置法の趣旨に沿って、平成9年10月1日より、大学等関係機関**から地震観測データの提供を受け、文部科学省と協力してこれを整理し、整理結果等を、同法に基づいて設置された地震調査研究推進本部地震調査委員会に提供するとともに、気象業務の一環として防災情報として適宜発表する等活用している。

なお、地震・火山観測データの整理結果については、本編の姉妹編の「地震・火山月報（カタログ編）」に掲載している。

注* 秋田県、埼玉県、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県、山口県、横浜市（神奈川県）（以上9府県、1政令指定都市は平成9年11月10日から発表）、群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県（以上6県は平成10年6月15日から発表）、青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県（以上12府県は平成10年10月15日から発表）、東京都、長野県（以上2都県は平成11年7月21日から発表）、栃木県、千葉県、岐阜県、名古屋市（愛知県）（以上3県、1政令指定都市は平成12年1月12日から発表）、滋賀県（平成12年3月28日から発表）、富山県、香川県、大分県（以上3県は平成12年7月18日から発表）、佐賀県（平成13年3月22日から発表）、山梨県、川崎市（神奈川県）（以上1県、1政令指定都市は平成13年5月10日から発表）の38都府県、3政令指定都市。

注** 北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、独立行政法人防災科学技術研究所、独立行政法人産業技術総合研究所、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所、横浜市及び海洋科学技術センター。

目次

日本の地震活動	1
東海・南関東地域の地震活動*	10
日本及びその周辺で発生した主な地震と津波予報を行った地震	14
世界の主な地震	16
日本の主な火山活動	17
付表	
1. 震度1以上が観測された地震の表	24
1-1 震度1以上が観測された平成12年(2000年)鳥取県西部地震の余震の表	32
1-2 三宅島近海及び新島・神津島近海を震源とする震度1以上が観測された地震の表	33
2. 過去1年間の最大震度別の月別地震回数	34
3. 1991～2000年に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数	35

訂正

平成13年3月 地震・火山月報（防災編）

p21 右段の薩摩硫黄島 の3行目 「…（1月1,538回）…」を「…（2月1,538回）…」に訂正。

平成13年4月 地震・火山月報（防災編）

p5 右段 下から4行目 「4月に震度1以上を観測した地震は13回」を「4月に震度1以上を観測した地震は16回」に訂正。

p13 右段 下から2行目 「4月に震度1以上を観測した地震は14回」を「4月に震度1以上を観測した地震は16回」に訂正。

p23 右段の三宅島 の26行目 「…地質調査所…」を「…産業技術総合研究所…」に訂正。

p24 左段の三宅島 図9の図説2行目 「（…～2001年4月）」を「（…2001年4月）」に訂正。

p24 右段の阿蘇山 図10の図説1行目 「阿蘇山中中岳…」を「阿蘇山中岳…」に訂正。

p25 右段の諏訪之瀬島 図13の図説1行目 「諏訪瀬島」を「諏訪之瀬島」に訂正。

修正

2000年6月～8月における三宅島近海～新島・神津島近海の震度1以上を観測した地震回数を修正（平成12年12月号と比較して55回増）し、これに伴い同期間の全国の震度1以上を観測した地震回数を修正した。修正した回数は、p.5及びp.35を参照。

*大規模な地震から国民の生命・財産を保護することを目的として、昭和53年（1978年）12月に施行された「大規模地震対策特別措置法」では、大規模な地震の発生のおそれがあり、その地震によって大きな被害が予想されるような地域をあらかじめ「地震防災対策強化地域」として指定し、地震予知のための観測施設の整備を強化し、あらかじめ地震防災に関する計画をたてる等、各種の措置を講ずることとしており、現在、神奈川・静岡・山梨・長野・岐阜及び愛知の各県にわたる167市町村が、地震防災対策強化地域として指定されている。この地域では東海沖を震源とするマグニチュード8クラスの想定されている大地震（東海地震）が起こった場合、震度6弱以上になり、沿岸では大津波の来襲が予想されている。

中央防災会議は、南関東地域において講ずべき震災対策について平成4年（1992年）8月「南関東地域直下の地震対策に関する大綱」（以下、「大綱」という）を決定（平成10年6月改訂）した。大綱の趣旨に沿い、気象庁は、関係機関と協力して必要なデータの気象庁への集中を進め、常時監視の充実を図っている。

本書利用上の注意

- ・震央分布図の凡例（マグニチュードのUNDの記述）について
UNDはマグニチュードが決まらなかった地震を含むことを意味する。
- ・震央地名について
本紙では震央地名としては、原則として情報発表に使用したものをいい、それ以外の震央地名を使用した場合には、「震央地名[情報発表地名]」としている。
- ・地震の震源要素等について
地震の震源要素、発震機構解、震度等は、再調査された後、修正されることがある。確定された値については「地震・火山月報（カタログ編）」を参照のこと。

日本の地震活動

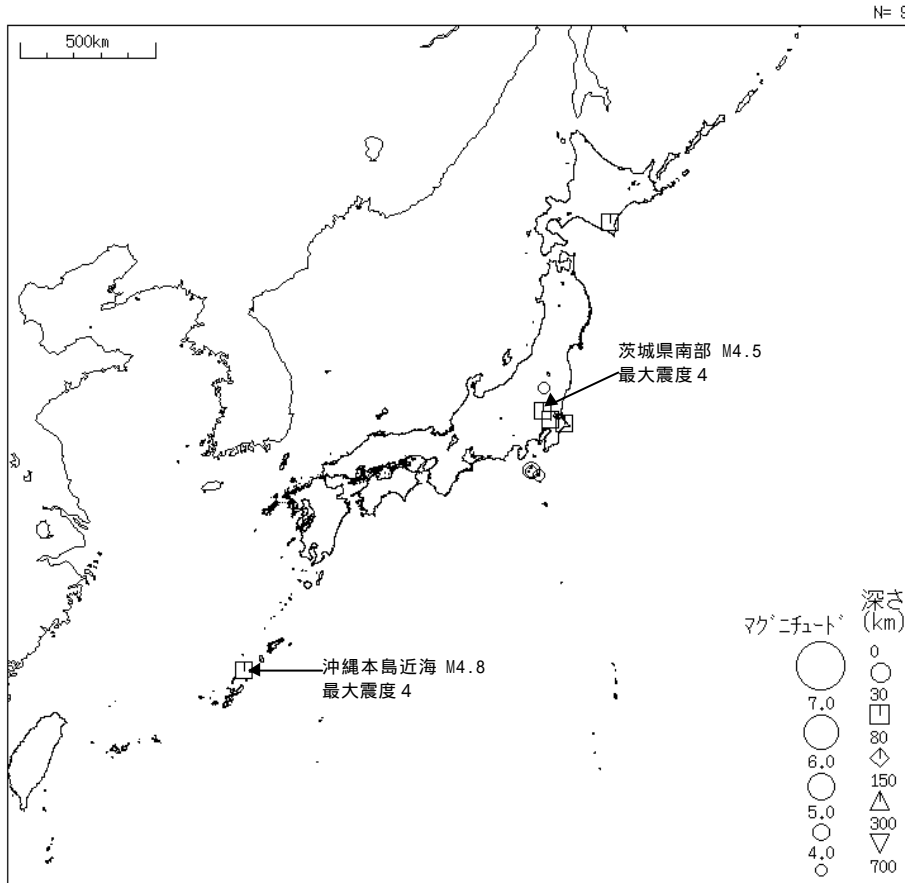


図 1 震度 3 以上が観測された地震

概況（日本付近の活動）

5月に日本及びその周辺で、震度3以上が観測された地震は9回（4月15回）であった。このうち、震度4以上が観測された地震は2回で、それらは、5月7日の沖縄本島近海の地震(M4.8、最大震度4)及び5月31日の茨城県南部の地震(M4.5、最大震度4)であった。

図2の範囲におけるM6.0以上の地震は、5月25日の択捉島付近の地震(M6.6、最大震度2)の1回であった。

震度3以上が観測された地震回数（最大震度別）

震度	5弱	4	3	合計
回数	0	2	7	9

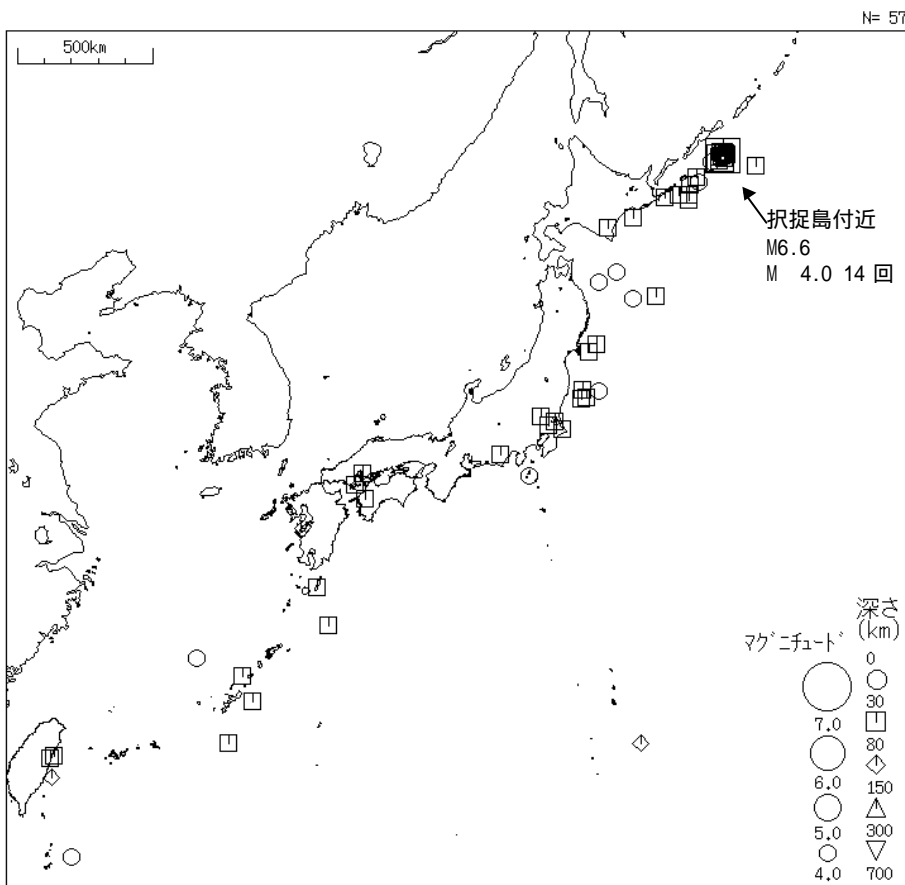


図 2 M4.0 以上の地震

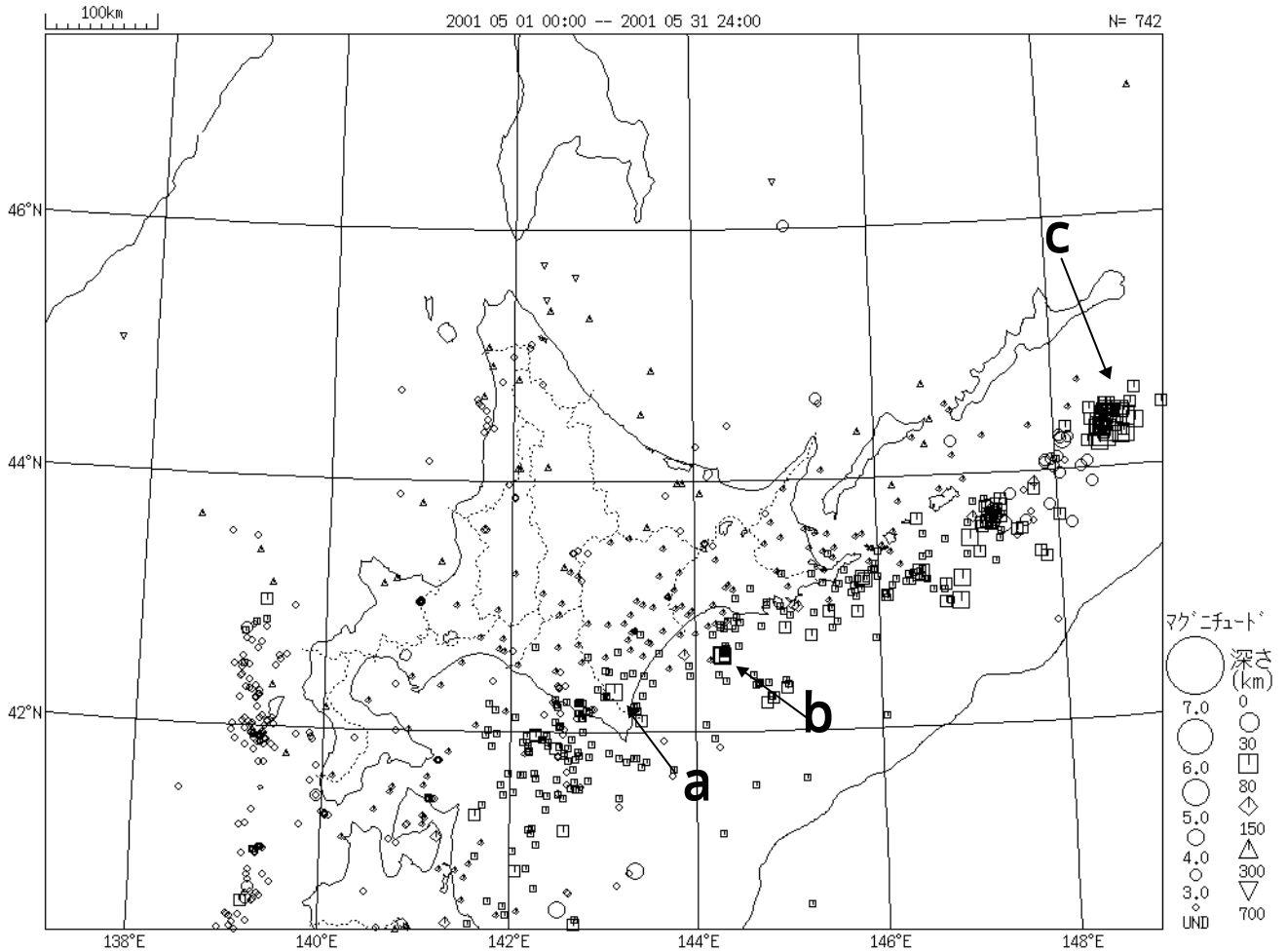


図 3 北海道地方の震央分布図

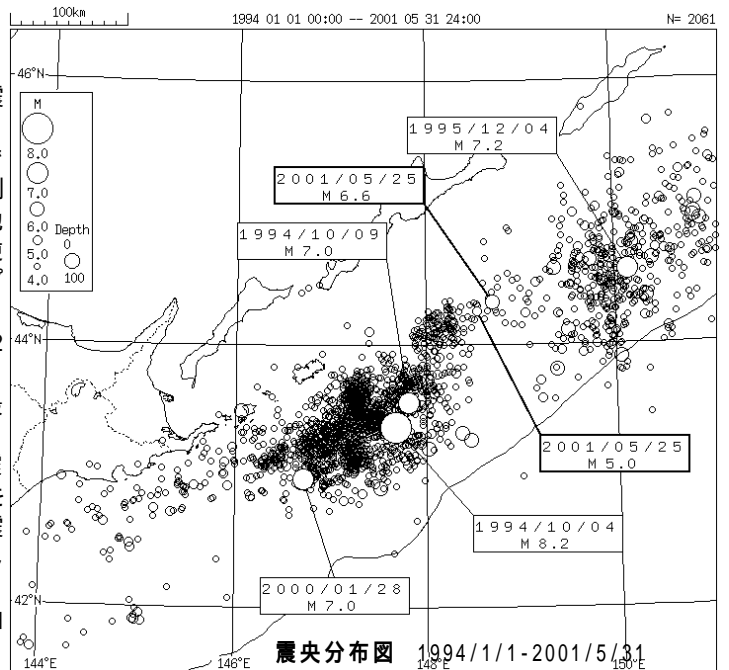
北海道地方

5月に北海道地方で震度1以上を観測した地震は、7回(4月12回)であった。

5月8日06時27分、十勝支庁南部の深さ55kmでM4.6の地震があり(図3a)、浦河町で震度3を観測したほか、北海道で震度1~2を観測した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸のある逆断層型であり(図3-1)、太平洋プレートと陸のプレートとの境界付近の地震である。

5月22日14時21分、釧路沖の深さ55kmでM4.2の地震があり(図3b)、釧路市で震度2を観測した。ほぼ同じところで、同日14時45分にM4.3の地震(最大震度1)があった。

5月25日09時40分、択捉島付近でM6.6の地震があり(図3c)、北海道と東北地方で震度1~2を観測した。この地震は、1994年の北海道東方沖地震(M8.2)と1995年の択捉島沖の地震(M7.2)それぞれの余震域の間に位置する(図3-2)。ハート大学による発震機構は西北西-東南東方向に圧力軸のある逆断層型である(図3-1)。



震央分布図 1994/1/1-2001/5/31

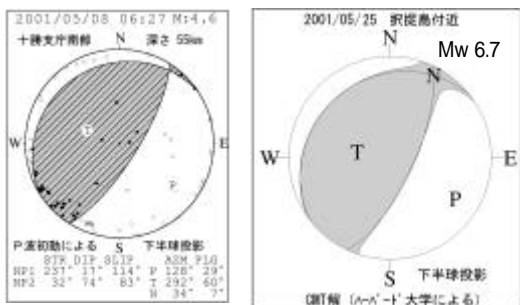
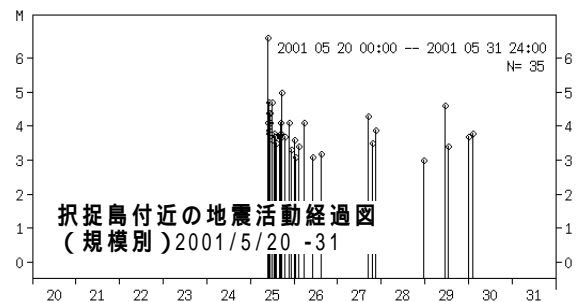


図 3 - 1 発震機構



択捉島付近の地震活動経過図 (規模別)2001/5/20 - 31

図 3 - 2 択捉島付近の地震活動

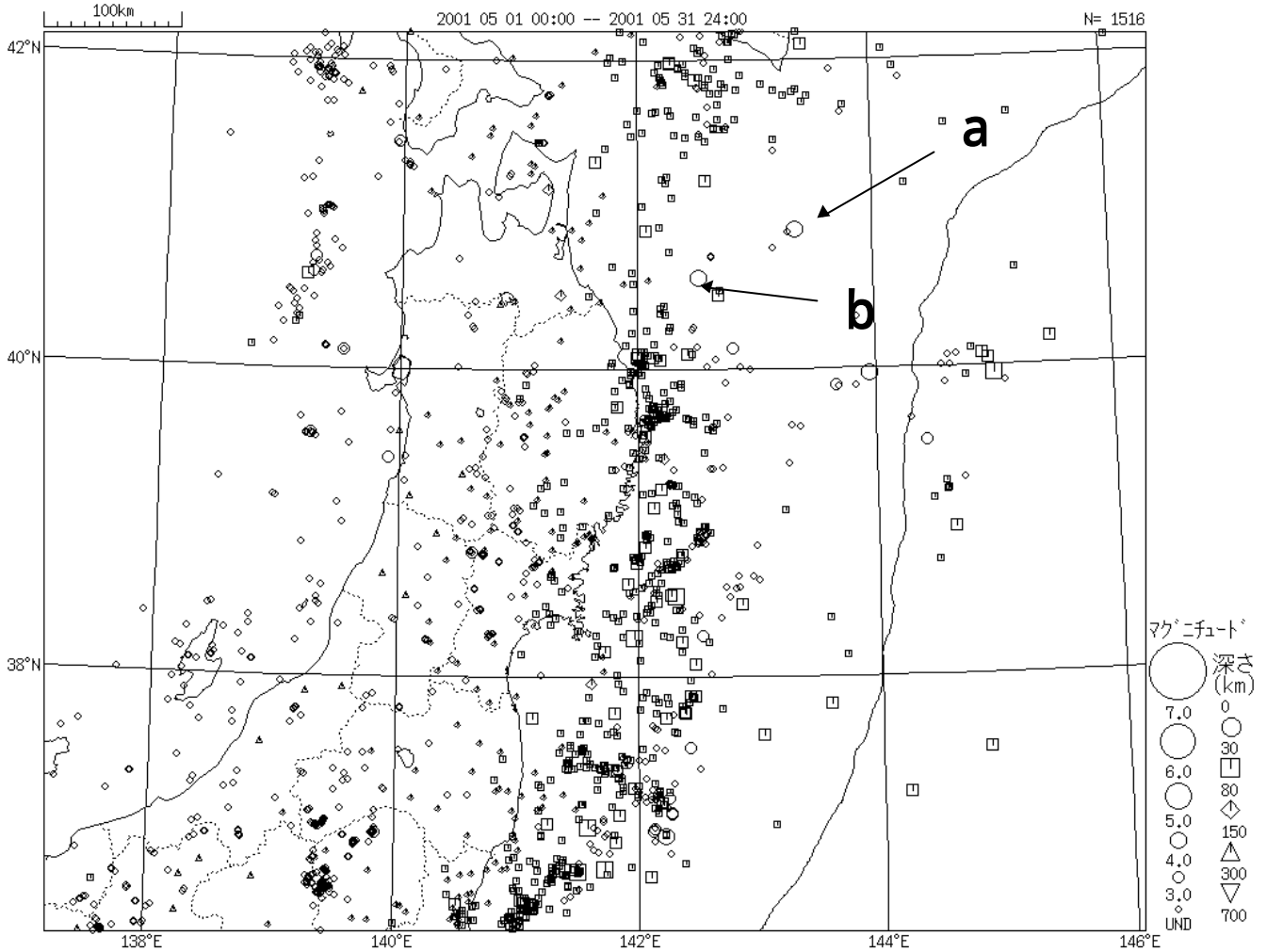


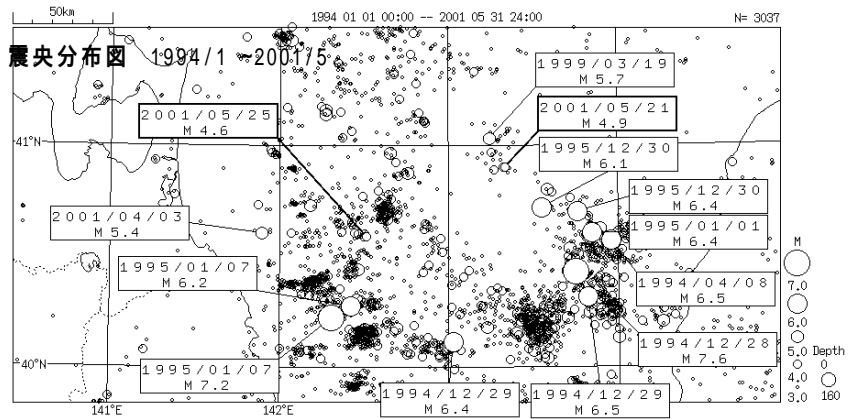
図 4 東北地方の震央分布図

東北地方

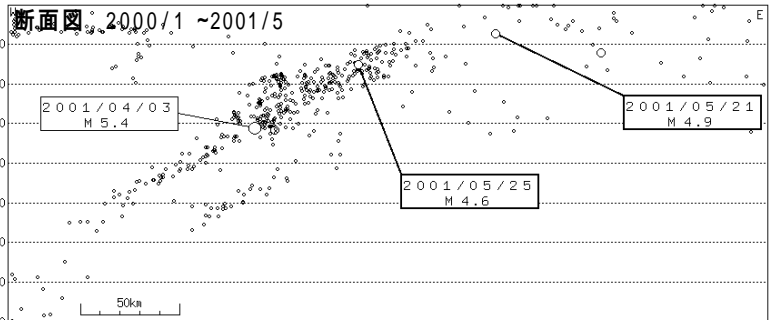
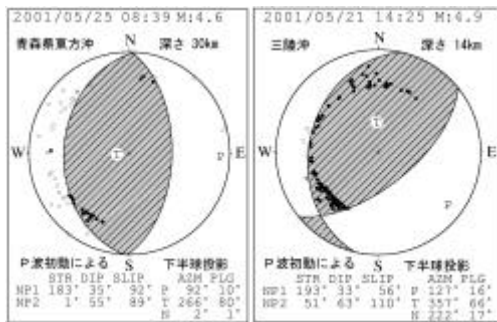
5月に東北地方で震度1以上を観測した地震は、13回(4月22回)であった。

5月21日14時25分、三陸沖でM4.9の地震があり(図4 a)、北海道、青森県と岩手県の一部で震度1を観測した。この地震の発震機構は、北西-南東方向に圧力軸のある逆断層型である(図4-1)。

5月25日08時39分、青森県東方沖の深さ30kmでM4.6の地震があり(図4 b)、青森県と岩手県で震度1~2を観測した。この地震の発震機構は、東西方向に圧力軸のある逆断層型である(図4-1)。



震央分布図 1994/1 ~ 2001/5



断面図: 2000/1 ~ 2001/5

図 4 - 1 三陸沖 ~ 青森県東方沖の地震活動

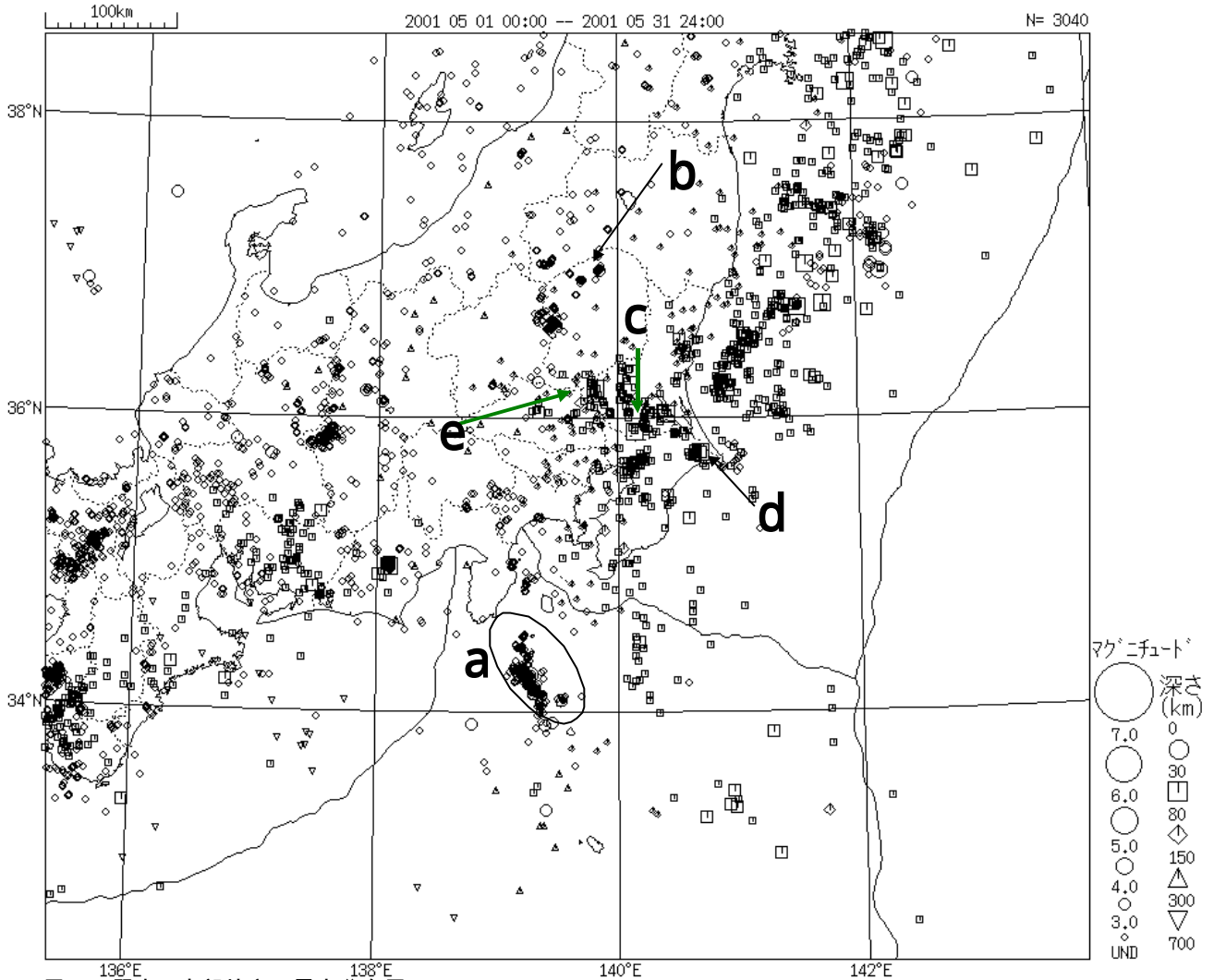


図 5 関東・中部地方の震央分布図

関東・中部地方

5月に関東・中部地方で震度1以上を観測した地震は、63回（4月45回）であった。

三宅島近海～新島・神津島近海（図5 a）では、神津島の東海域で5月1日にM4.2（最大震度3）、11日にM3.4（最大震度3）、三宅島近海（三宅島島内）で、7日にM2.8（最大震度3）等、震度1以上を観測する地震が30回（4月は16回）あった。月回数が20回を超えたのは、2000年12月（36回）以来であった（図5 - 2）。

5月18日03時58分、栃木県北部でM3.7の地震があり（図5 b）栃木県の塩原町で震度3を観測したほか、栃木県、福島県で震度1～2を観測した（図5 - 1）。

5月24日13時22分、茨城県南部の深さ74kmでM4.2の地震があり（図5 c）茨城県の協和町で震度3を観測したほか、関東地方とその周辺で震度1～2を観測した。この地震は、太平洋プレートの沈み込みに伴う地震であり、その発震機構は、東西方向に圧力軸のある逆断層型である（p.13参照）。

5月25日15時55分、千葉県北東部の深さ50kmでM4.8の地震があり（図5 d）千葉県の光町、多古町、成田市等で震度3を観測したほか、関東地方とその周辺で震度1～2を観測した。この地震の発震機構は、東西方向に圧力軸がある逆断層型であり（p.13参照）太平洋プレートとフィリピン海プレートとの境界付近の地震である。この地震の近くでは、2000年6月3日にM6.1（最大震度5弱）の地震が発生している。

5月31日08時59分、茨城県南部の深さ55kmでM4.5の地震があり（図5 e）栃木県の藤岡町で震度4を観測したほか、関東地方とその周辺で震度1～3を観測した。この地震の発震機構は、北西－南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、フィリピン海プレート内部の地震と考えられる（p.13参照）。

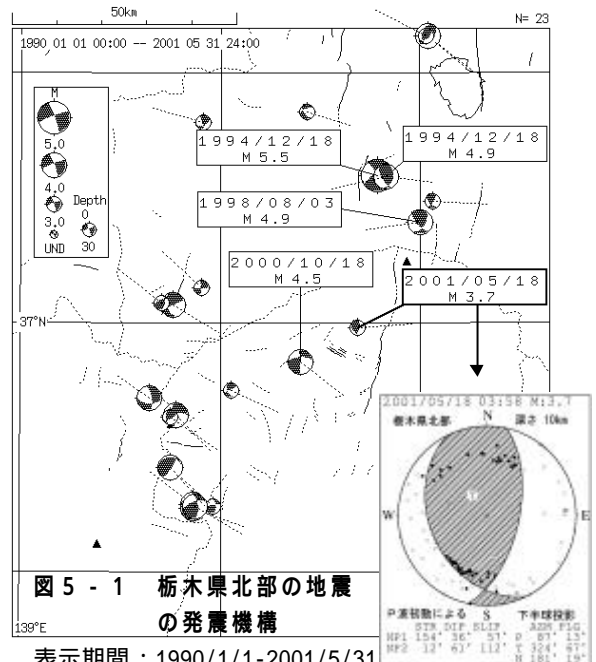


図 5 - 1 栃木県北部の地震の発震機構

表示期間：1990/1/1-2001/5/31

三宅島近海～新島・神津島近海の月別最大震度別及びM別地震回数表

年月	最大震度								合計	M 2.5	M 3.2	M 4.0
	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6弱				
2000年6月	1,330	477	114	28	1	0	0	1,950	* 2,474>	1,080	92	
2000年7月	6,117	1,637	424	117	7	5	4	8,311	* 7,958>	3,544	370	
2000年8月	2,624	804	247	75	8	2	2	3,762	* 3,205>	1,148	139	
2000年9月	94	32	6	1	1	0	0	134	345	29	2	
2000年10月	30	9	4	1	0	0	0	44	120	10	2	
2000年11月	11	7	0	0	0	0	0	18	59	3	0	
2000年12月	27	5	3	1	0	0	0	36	89	10	0	
2001年1月	8	3	0	1	0	0	0	12	51	4	0	
2001年2月	11	6	0	0	1	0	0	18	46	6	0	
2001年3月	13	3	1	0	0	0	0	17	24	0	0	
2001年4月	13	3	0	0	0	0	0	16	18	0	0	
2001年5月	23	4	3	0	0	0	0	30	52	6	1	
合計	10,301	2,990	802	224	18	7	6	14,348	-	5,840	606	

*地震が多発したため、M2.5 - 3.1 の地震のすべては、とらえられていない。

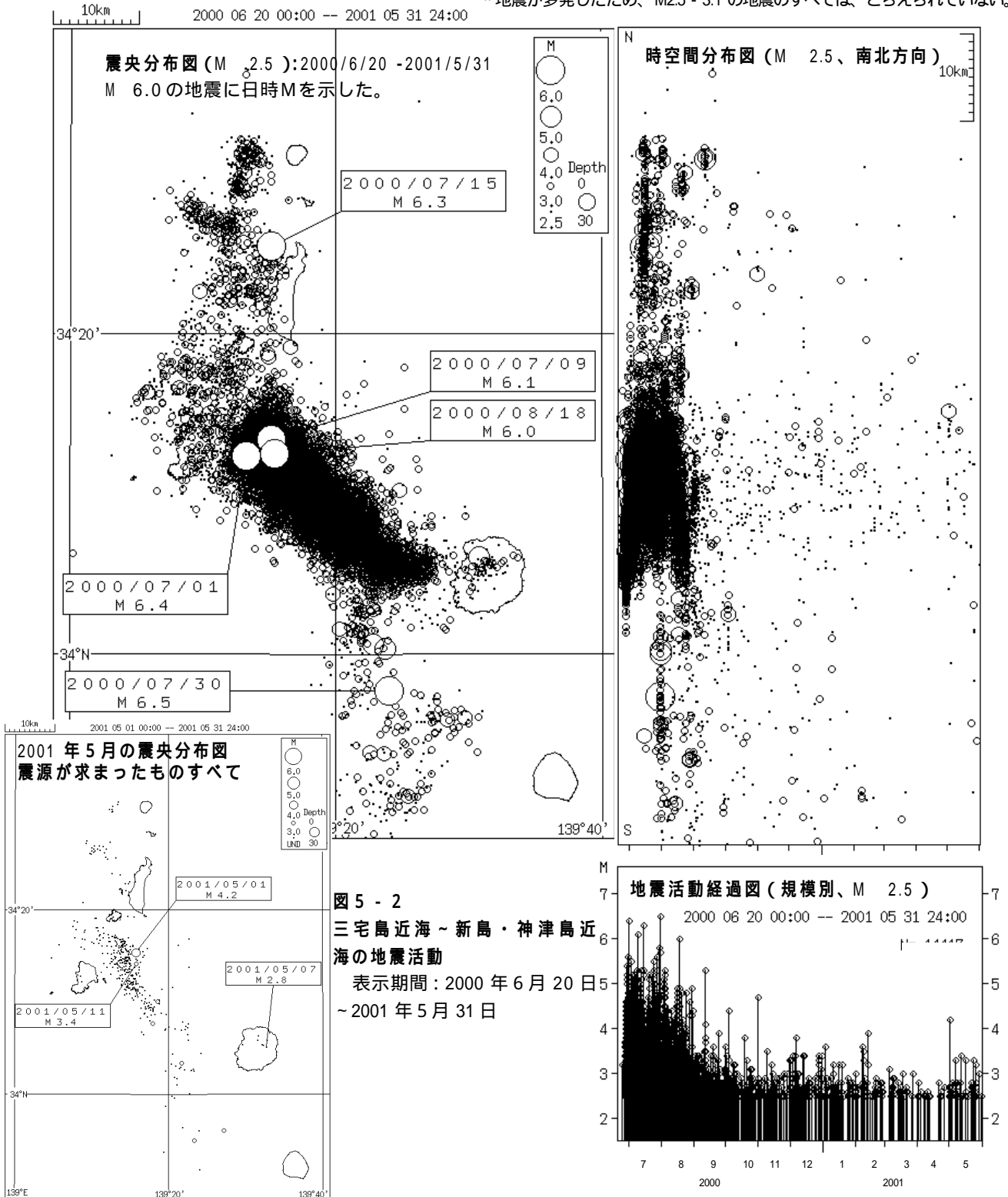


図 5 - 2
三宅島近海～新島・神津島近海の地震活動
表示期間: 2000年6月20日
～2001年5月31日

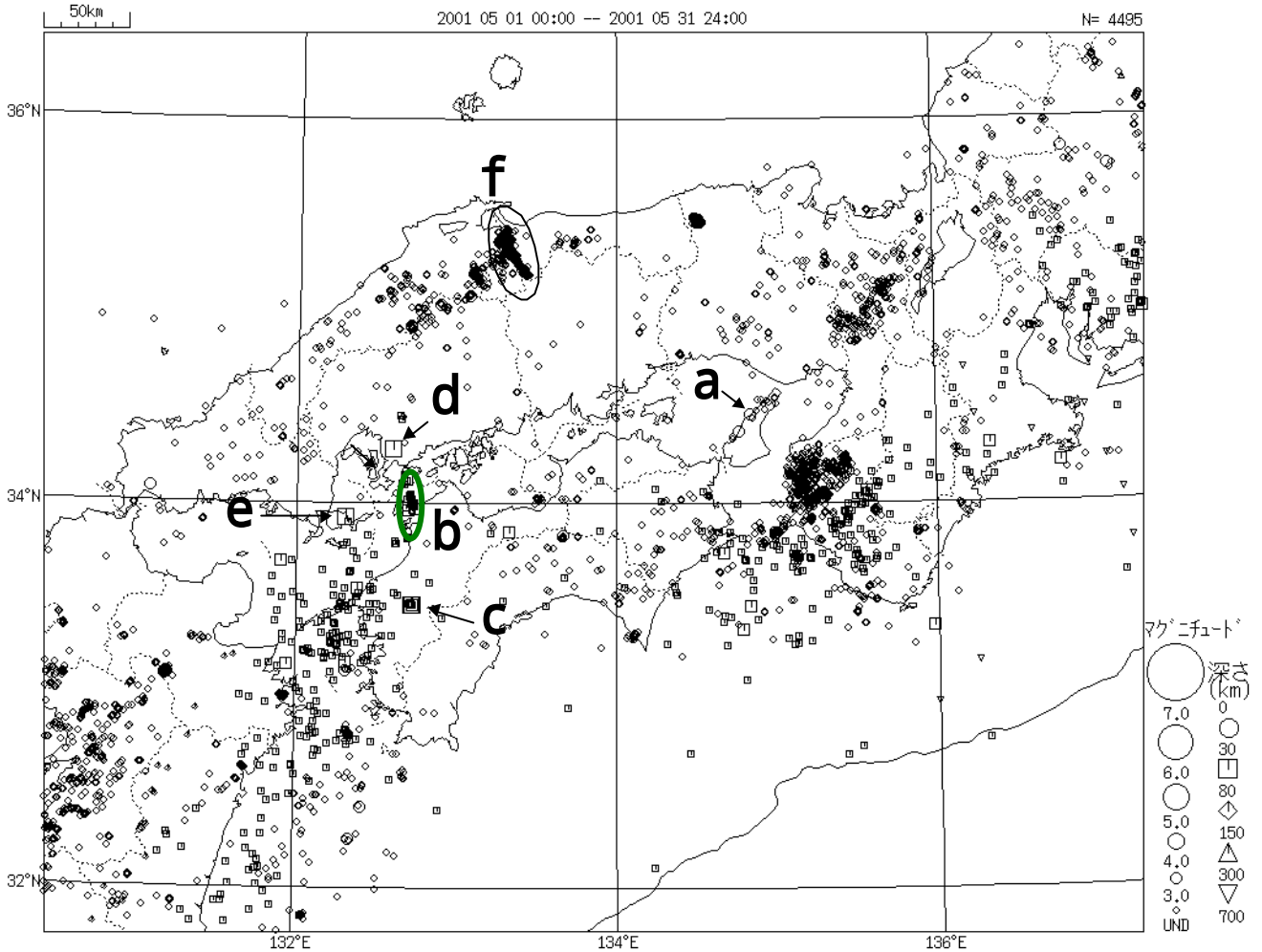


図6 近畿・中国・四国地方の震央分布図

近畿・中国・四国地方

5月に近畿・中国・四国地方で震度1以上を観測した地震は、33回(4月29回)であった。

5月6日05時48分、淡路島付近でM3.8の地震があり(図6 a)、兵庫県、大阪府などで震度1~2を観測した(図6-1)。

平成13年(2001年)芸予地震(M6.7)の余震活動(図6 b)は順調に減衰している。5月に震度1以上を観測した余震は3回(すべて最大震度1、4月は6回)、このうち最大規模は、M3.7であった。また、余震域の周辺でM4程度の地震が散発的に発生した。それらは図6 c、d、eの3箇所である。

5月9日19時48分、愛媛県南予地方の深さ43kmでM4.1の地震があり(図6 c)、愛媛県で震度1~2、広島県と山口県の一部で震度1を観測した。ほぼ同じところで5月12日にM4.0(最大震度1)の地震があった。

5月16日01時18分、広島県南西部の深さ46kmでM4.2の地震があり(図6 d)、広島県で震度1~2、愛媛県と山口県で震度1を観測した。

5月27日10時18分、安芸灘の深さ55kmでM4.0の地震があり(図6 e)、広島県と山口県で震度1~2、愛媛県で震度1を観測した。

これらの地震の発震機構は、北東-南西ないし東北東-西南西方向の張力軸を持つ正断層型であり、いずれもフィリピン海プレート内部の地震と考えられる(図6-2)。

平成12年(2000年)鳥取県西部地震(M7.3)の余震活動(図6 f)は、引き続き減衰傾向を示し、5月に震度1以上を観測した地震は9回(すべて最大震度1、4月は14回)であった(p.32参照)。

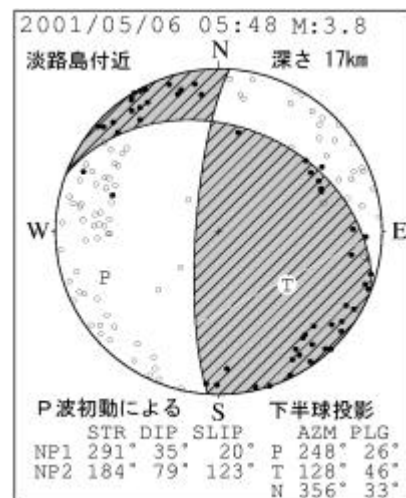


図6-1 淡路島付近の地震の発震機構
東北東-西南西方向に圧力軸がある。

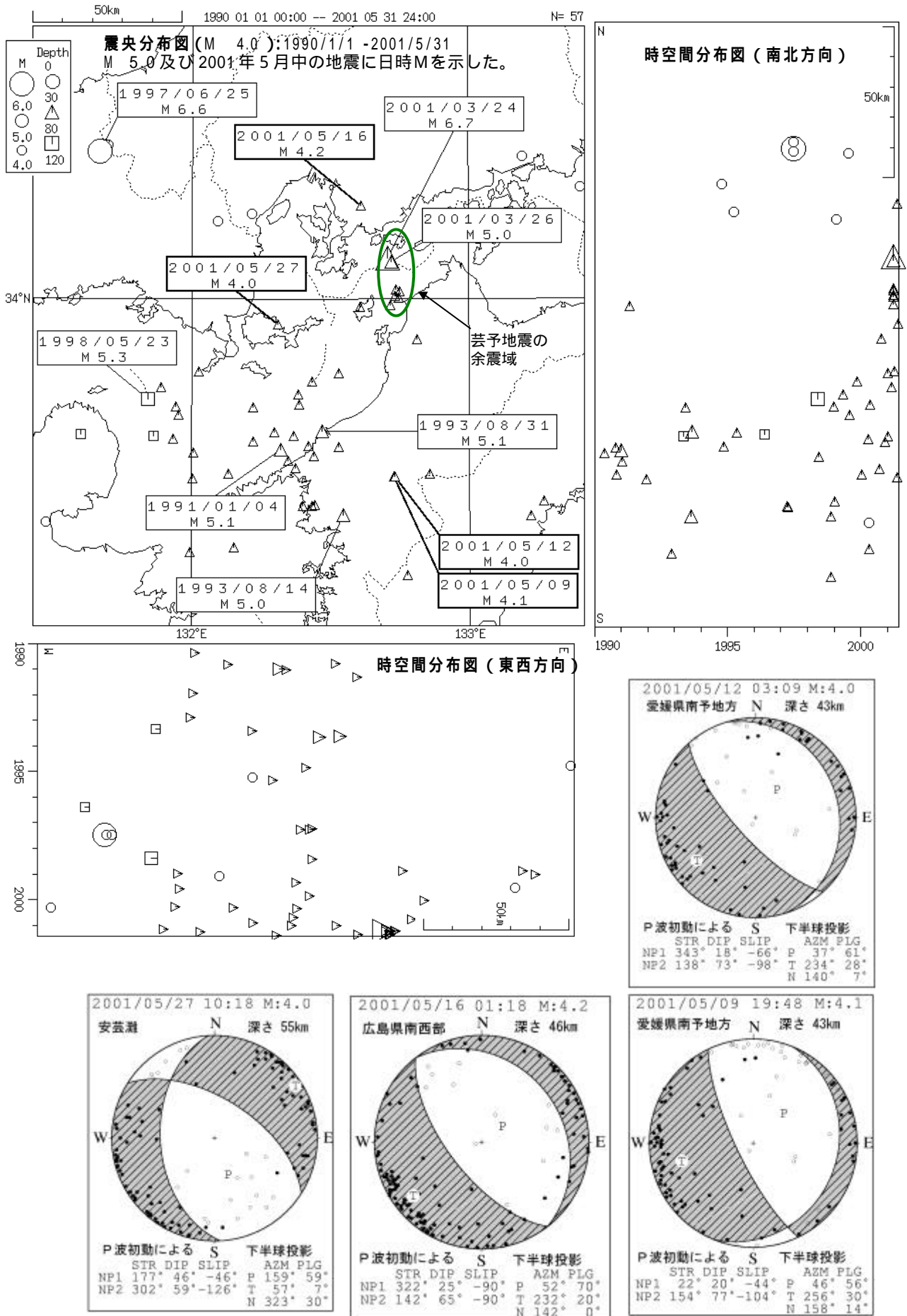


図 6 - 2 芸予地震周辺の地震活動

表示期間: 1990 年 1 月 1 日 ~ 2001 年 5 月 31 日

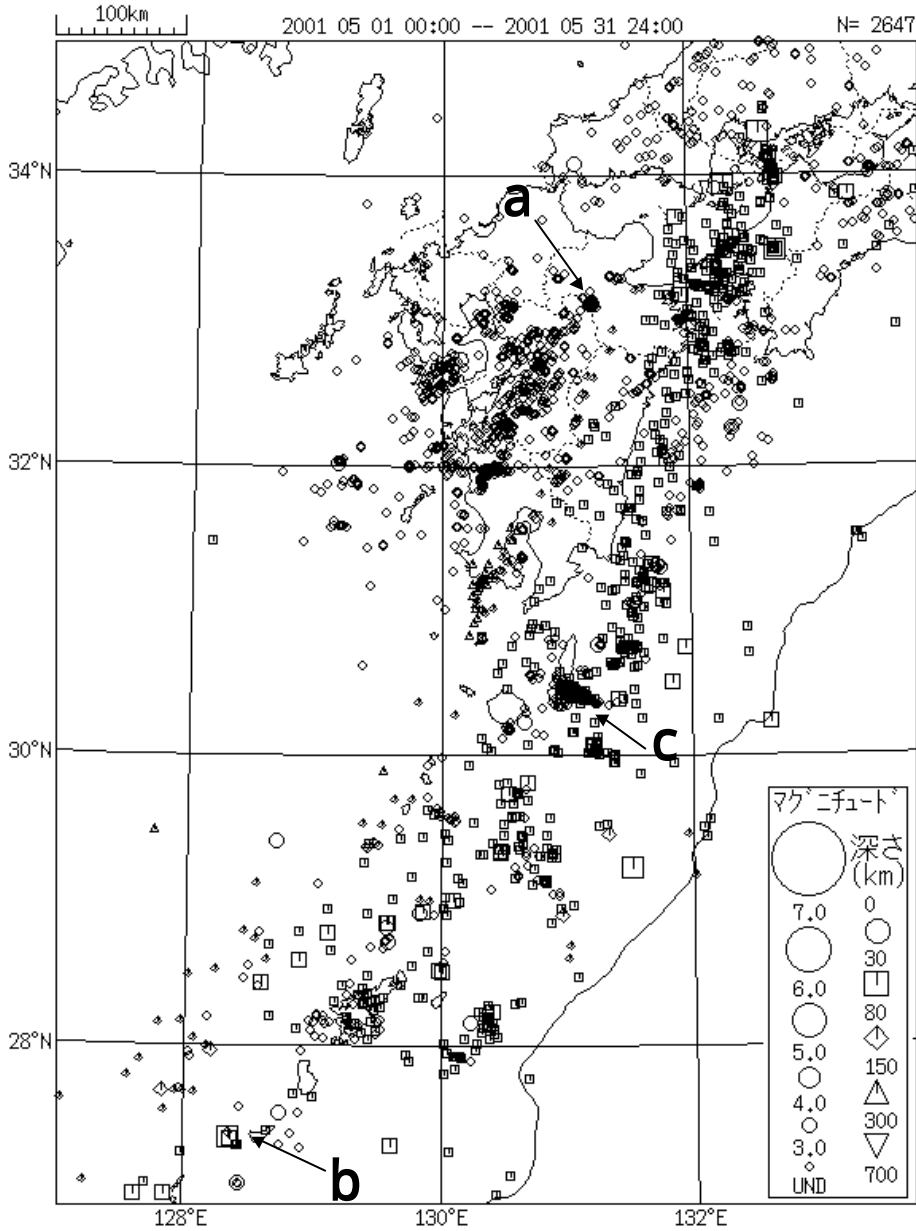


図 7 九州地方の震央分布図

九州地方

5月に九州地方で震度1以上を観測した地震は、13回（4月12回）であった。

5月7日午後から、大分県西部（大分・熊本県境付近）で、小規模な地震活動（最大規模は、M3.2が2回）があり（図7a）、7日14時～24時にかけて、震度1以上を観測した地震が9回あった。この活動は、5月8日にほぼ収まった。この地域はたびたび小規模な地震活動が見られる地域であり、そのほとんどは1日程度で収まっている。

5月7日23時32分、沖縄本島近海でM4.8の地震があり（図7b）沖永良部島で震度3～4を観測した（地震の概要は沖縄地方の項参照）。

5月12日12時32分、種子島近海でM4.5の地震があり（図7c）鹿児島県南部と種子島で震度1～2を観測した。この地震に先立ち、12日09時49分にもほぼ同じところでM4.1（最大震度1）の地震があった。

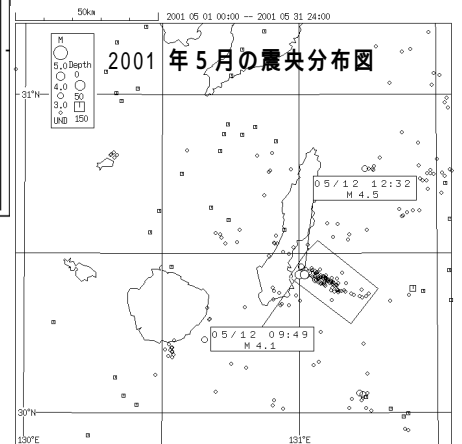


図 7 - 2 種子島近海の地震活動

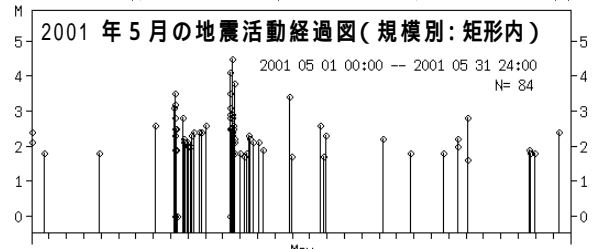
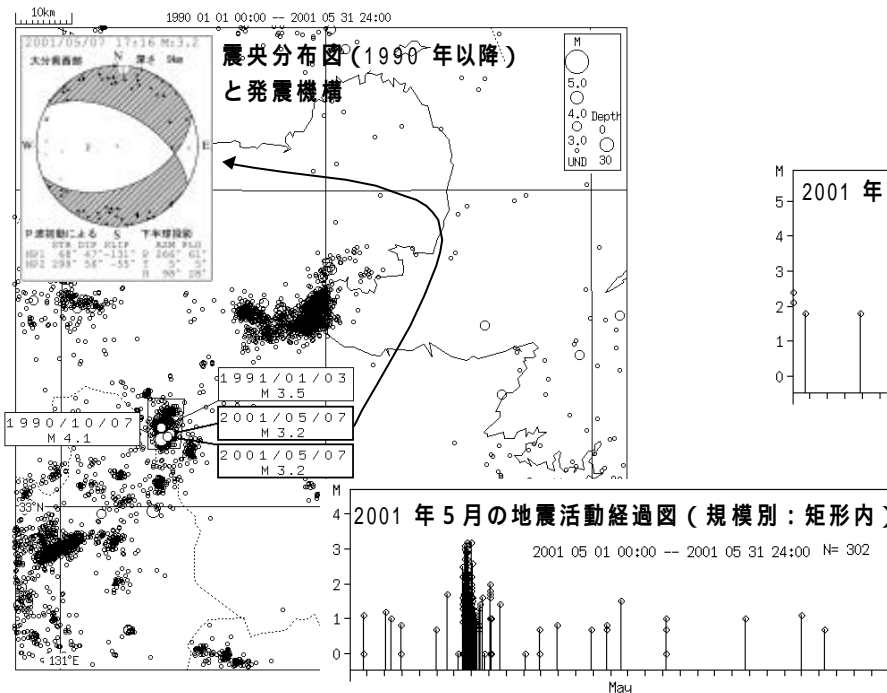


図 7 - 1 大分県西部（大分・熊本県境付近）の地震活動



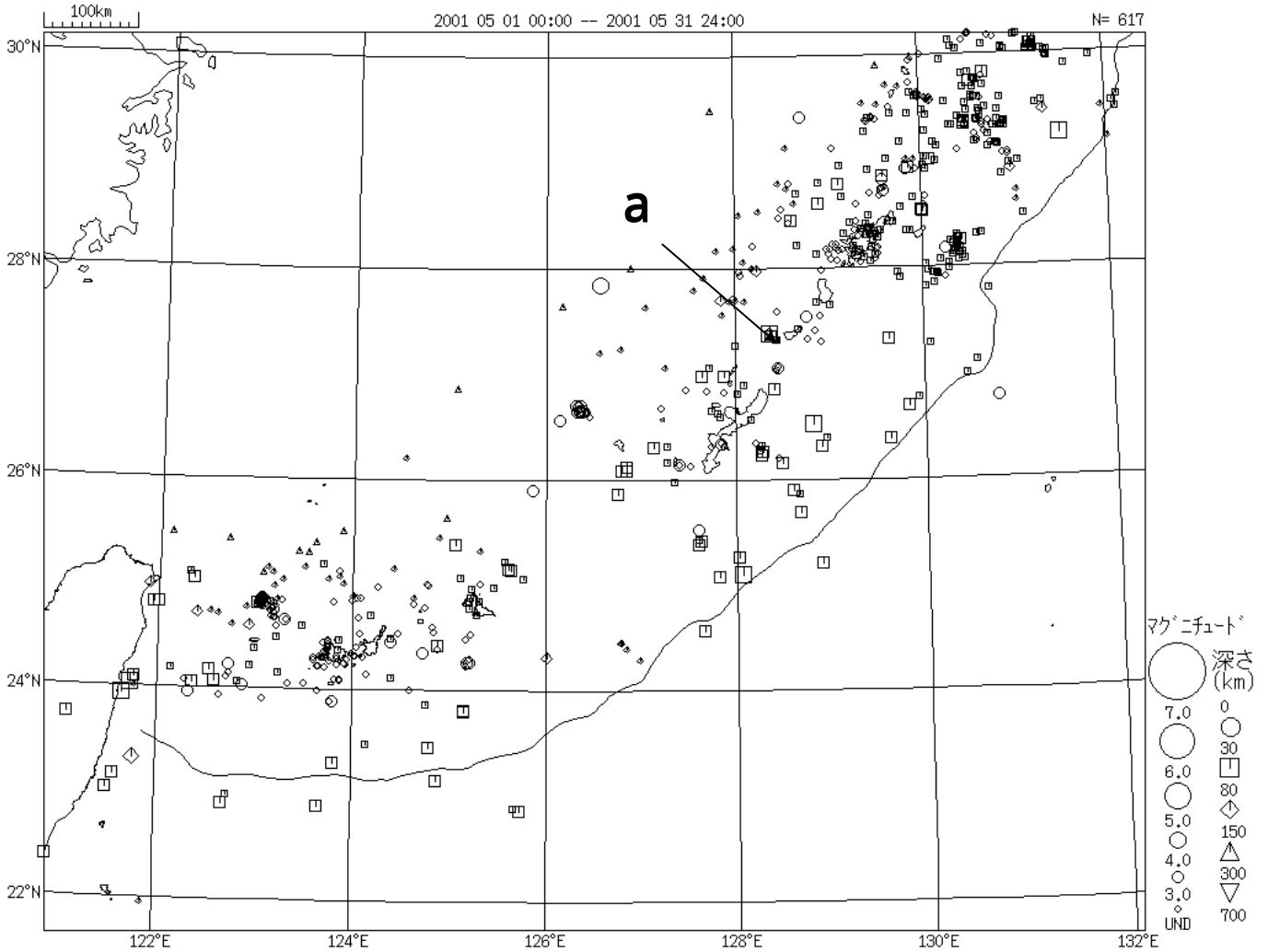


図 8 沖縄地方の震央分布図

沖縄地方

5月に沖縄地方で震度1以上を観測した地震は、3回（4月5回）であった。

5月7日23時32分、沖縄本島近海の深さ47kmでM4.8の地震があり（図8a）、沖永良部島で震度3～4、奄美大島から沖縄島にかけて震度1～2を観測した（図8-1）。この地震は、フィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震である。図8-1（左図）の領域A内では、過去約20年間でM5.0以上の地震が8回あった。

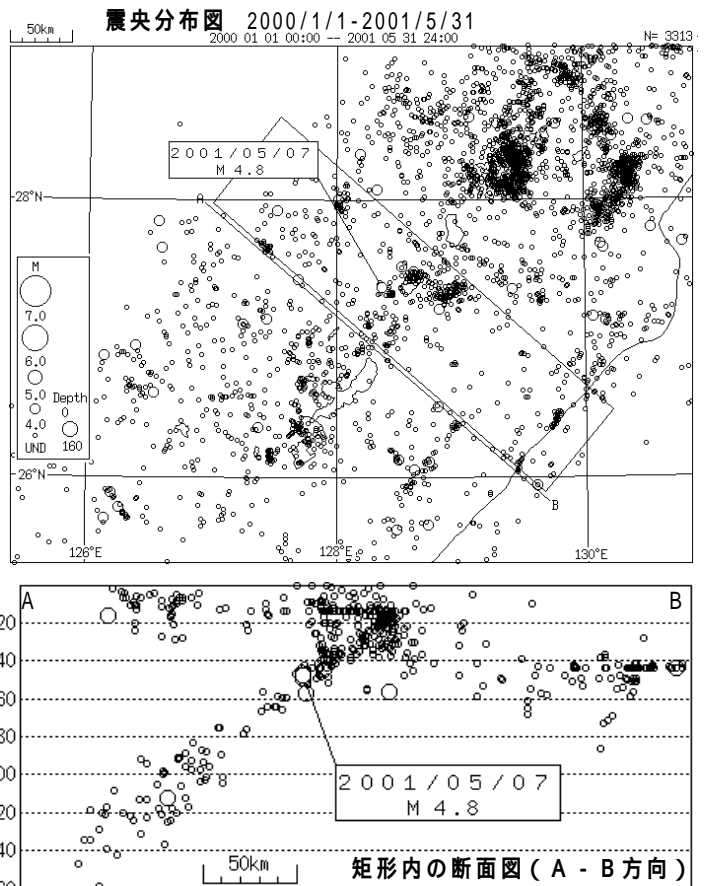
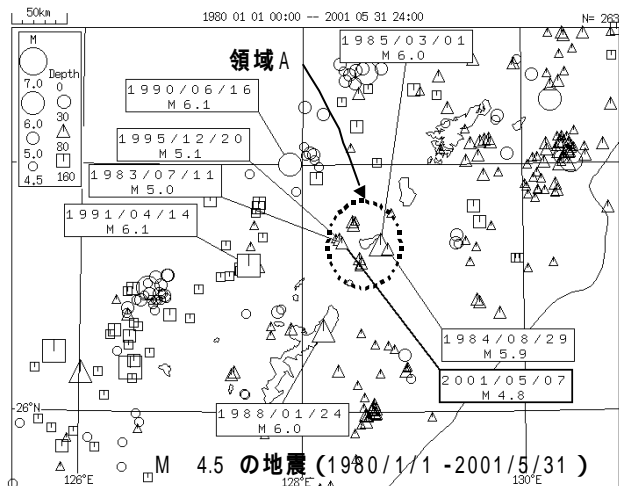


図 8 - 1 沖縄本島近海の地震活動

東海・南関東地域の地震活動

概況

東海地域では、4月3日に静岡県中部のフィリピン海プレート内で発生した M5.1 の地震の余震活動が続いた。5月31日には、4月3日の M5.1 の地震の南東隣接域で M4.1（最大震度 2）の地震が発生した。

南関東地域では、特に目立った地震活動はなかった。

2001 年 5 月 1 日 ~ 31 日（地震数 1,690）

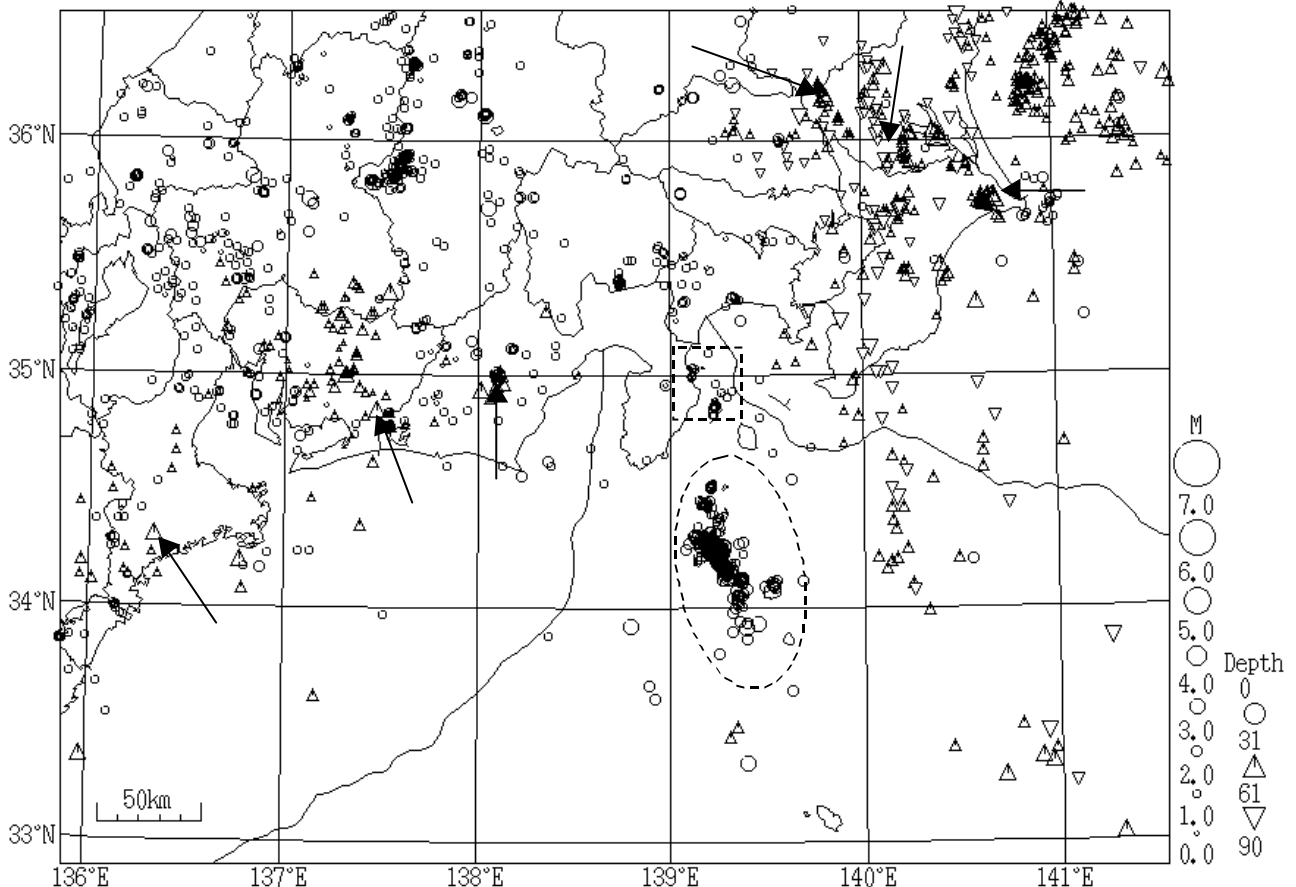


図 1 震央分布図<図中の数字は、下の本文中の番号に対応する>

3 回)と静かな状態が続いている。

1. 東海地域

4月3日に静岡県中部で発生した M5.1 の地震の余震活動が続いた。31日 01 時 52 分に4月3日の M5.1 の地震の南東隣接域で M4.1 の地震が発生し、最大震度 2 を観測した。震源の深さは 32km、発震機構は東西方向に張力軸を持つ型で、4月3日の M5.1 の地震と同様にフィリピン海プレート内で発生したと考えられる(図 3)。

最近のフィリピン海プレート内の地震活動は 1999 年半ば以降、地震のやや少ない状態であったが、2000 年以降もとのレベルに戻りつつあるところに、4月3日の M5.1 の地震が発生した(図 4)。一方、地殻内の地震活動はやや活動の低い状態が続いており、4月3日の M5.1 以降も変化はない(図 5)。

23日 08 時 59 分、三重県中部のフィリピン海プレート内で M3.6 (最大震度 2、深さ 41km) の地震があった。発震機構は、南北方向に圧力軸を持つ型であった(図 2)。この付近では 2000 年 10 月 31 日に M5.5 (最大震度 5 弱) の地震が発生している。

24日 09 時 53 分、静岡県西部(静岡・愛知県境付近)のフィリピン海プレート内で M3.6 (最大震度 1、深さ 36km) の地震があった。

伊豆半島東方沖では、M2.0 以上の地震は 1 回(4月

2. 南関東地域

24日 13 時 22 分、茨城県南部で、M4.2 の地震があり、最大震度 3 を観測した。この地震の深さは 74km、発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、太平洋プレートの沈み込みに伴う地震と考えられる(図 6)。

25日 15 時 55 分、千葉県北東部で M4.8 の地震があり、最大震度 3 を観測した。この地震の深さは 50km、発震機構は東西方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと太平洋プレートの境界付近で発生したと考えられる。この付近では 2000 年 6 月 3 日に M6.1 (最大震度 5 弱) の地震が発生している(図 6)。

31日 08 時 59 分、茨城県南部で、M4.5 の地震があり、最大震度 4 を観測した。この地震の深さは 55km、発震機構は北西-南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、沈み込むフィリピン海プレート内で発生したと考えられる(図 6)。

3. 伊豆諸島

三宅島近海から新島・神津島近海にかけての地震活動が続いた。最大の地震は 1 日 22 時 01 分の M4.2 (最大震度 3) で、M3.0 以上の地震は 7 回(4 月 0 回)、震度 1 以上を観測する地震が 30 回あった(4 月 16 回)。

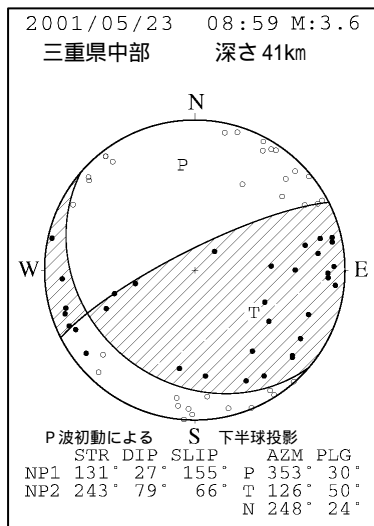


図 2 主な P 波初動による発震機構＜数字は、本文中の番号に対応する＞

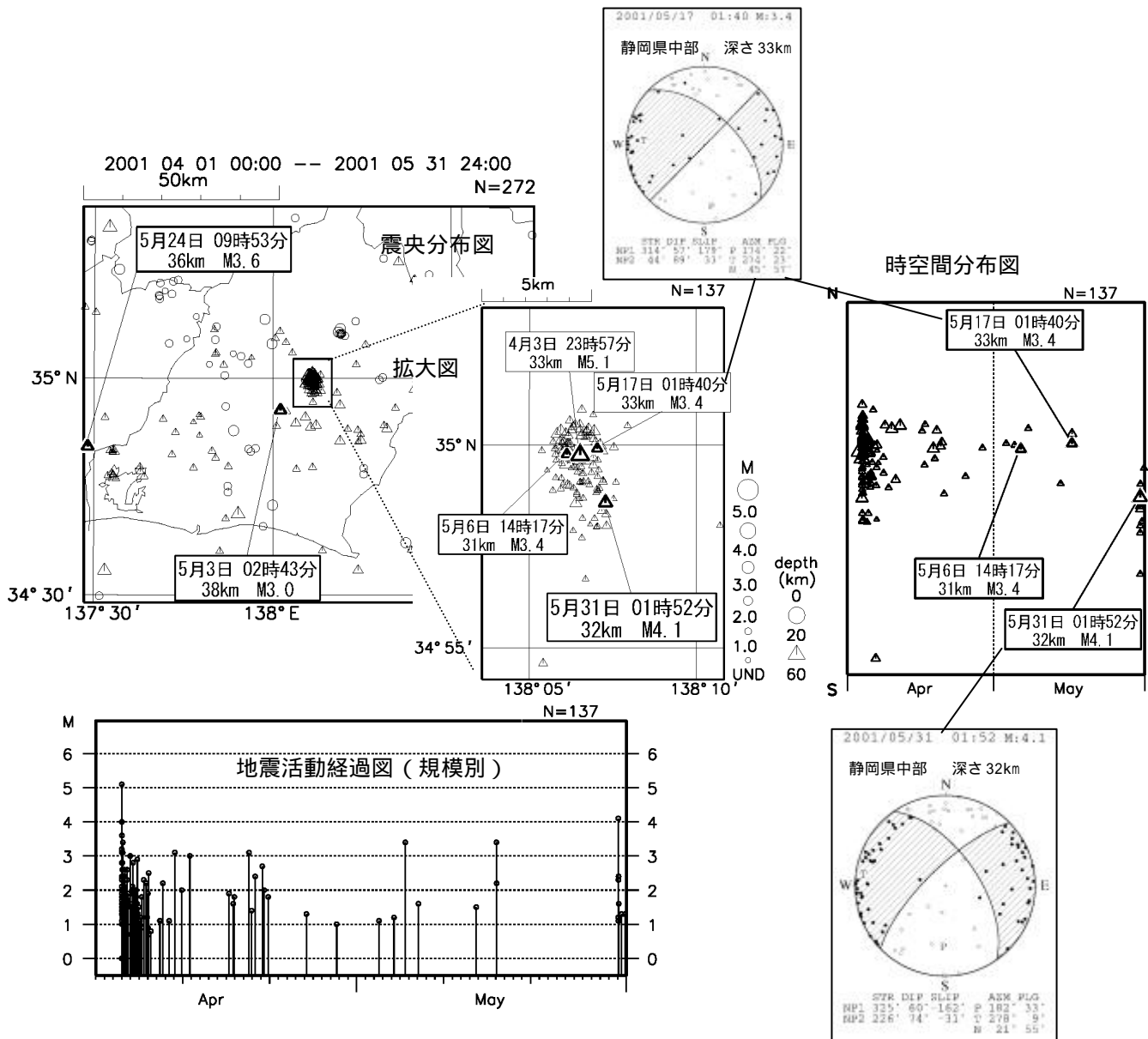


図 3 静岡県中西部の地震活動（表示期間 2001 年 4 月 1 日～ 5 月 31 日）

4 月 3 日 M5.1 の地震の余震活動が続いた。5 月 31 日に 4 月 3 日 M5.1 の地震の南東隣接域で M4.1 の地震が発生した。

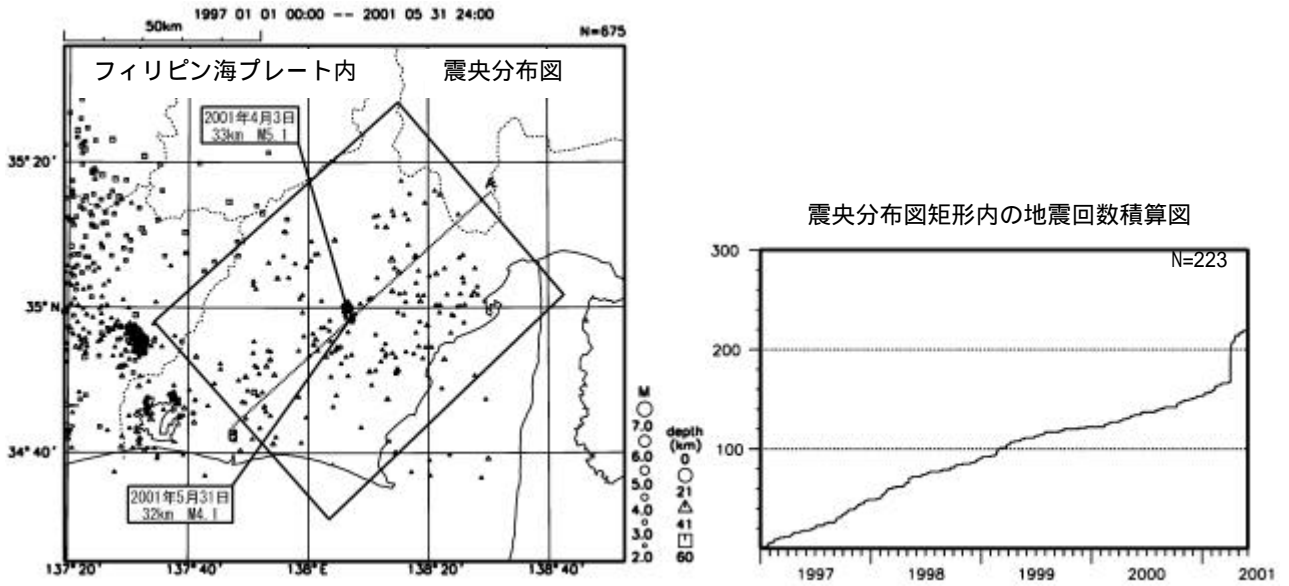


図 4 静岡県中西部（固着域周辺）のフィリピン海プレート内の地震活動（1997 年 1 月～2001 年 5 月、M2.0 以上）
1999 年半ば以降、地震のやや少ない状態となったが、2000 年以降もとのレベルに戻るつとあるところに、
4 月 3 日の M5.1 の地震が発生した。

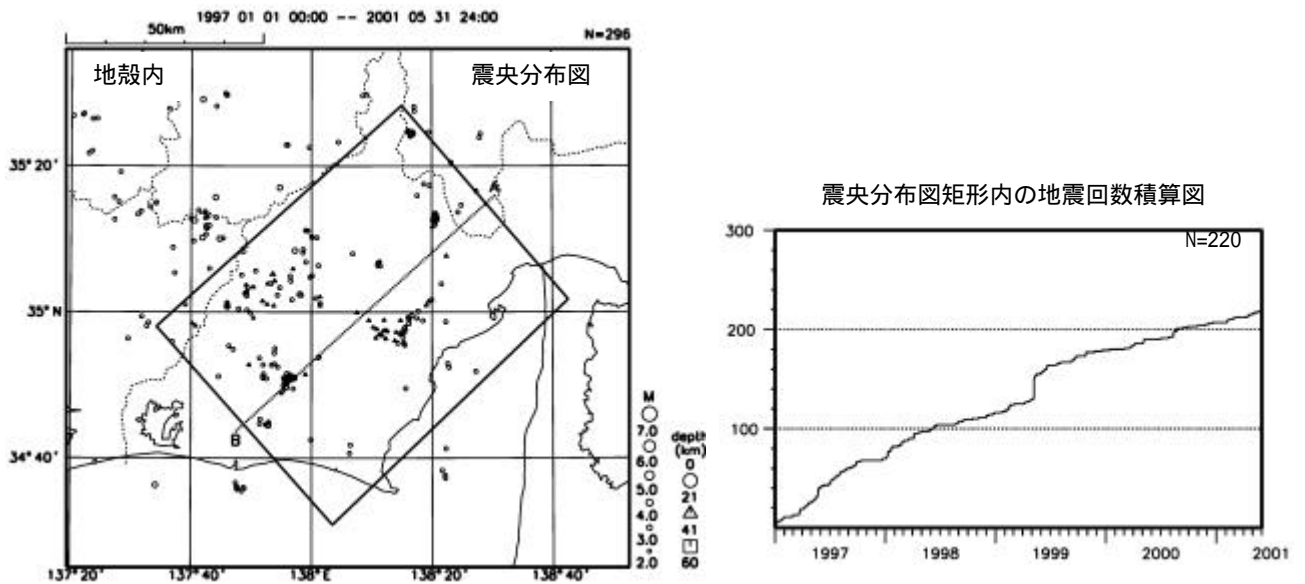


図 5 静岡県中西部（固着域周辺）の地殻内の地震活動（1997 年 1 月～2001 年 5 月、M2.0 以上）
1998 年以降地震の少ない状態が続いている。

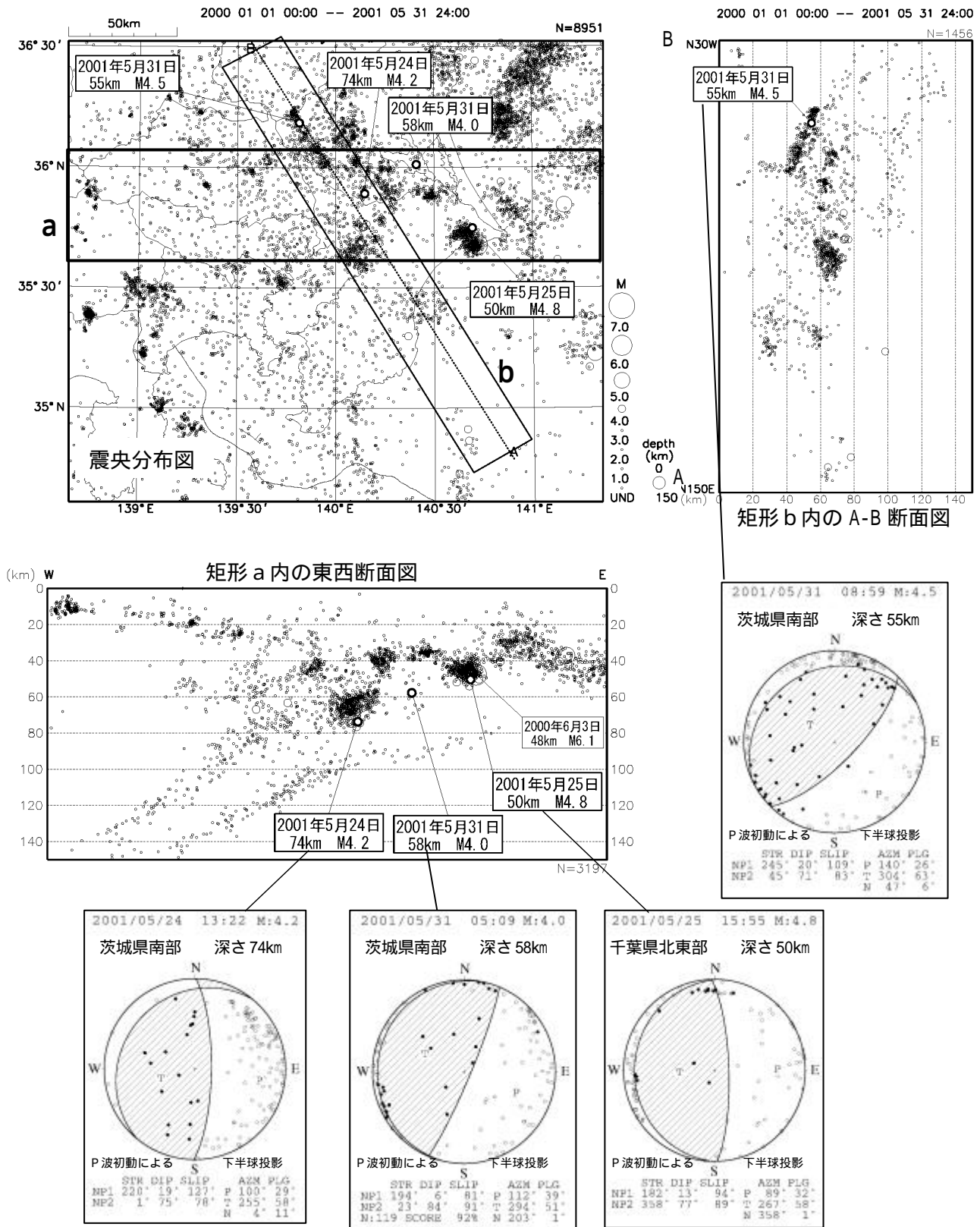


図 6 南関東の地震活動 (2000 年 1 月 1 日 ~2001 年 5 月 31 日)
M4 クラスの太平洋プレート及びフィリピン海プレートの沈み込みに伴う地震が 4 回あった。

日本及びその周辺で発生した主な地震と津波予報を行った地震

表1 「マグニチュード6.0以上」、「被害を伴った」、「震度4以上を観測した」、「津波予報を行った」のいずれかに該当する地震の表

番号	震源時 月 日 時 分	震央地名	震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)、津波予報(注1)	M H S T (注2)	最大震度・被害状況等(注3)
1	5 7 23 32	沖縄本島近海	27° 21.8'N 128° 22.0'E 47km M:4.8	. . . * .	4:鹿児島県 和泊町和泊*
2	5 25 09 40	択捉島付近	44° 19.1'N 148° 42.4'E 30km M:6.6 (注4)	*	2:北海道 静内町ときわ 他12点 青森県 むつ市金曲 他4点
3	5 31 08 59	茨城県南部	36° 11.0'N 139° 48.8'E 55km M:4.5	. . . * .	4:栃木県 栃木藤岡町藤岡*

注1)震源要素は再調査された後、修正されることがある。

注2)M H S Tの各項目について、M:M6.0以上の地震、H:被害を伴った地震、S:震度4以上を観測した地震、T:津波予報を行った地震、として該当項目に*を印した。

注3)最大震度の観測点名にある*印は地方公共団体の震度観測点の情報であることをあらわす。被害の報告は総務省消防庁による。

注4)震源の深さを30kmに仮定して震源決定をしている

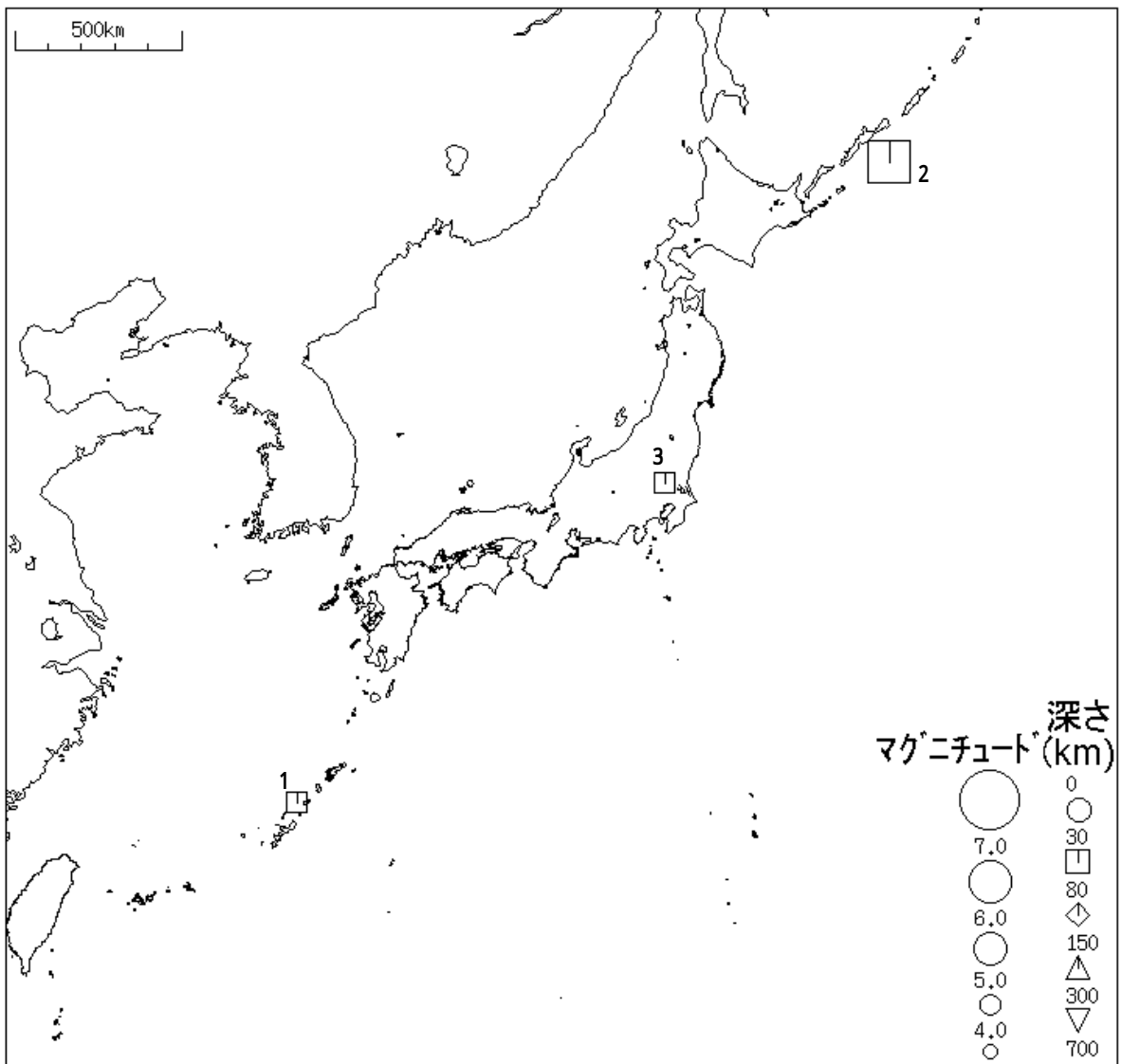


図1 震央分布図 <数字は、表1の番号に対応する>

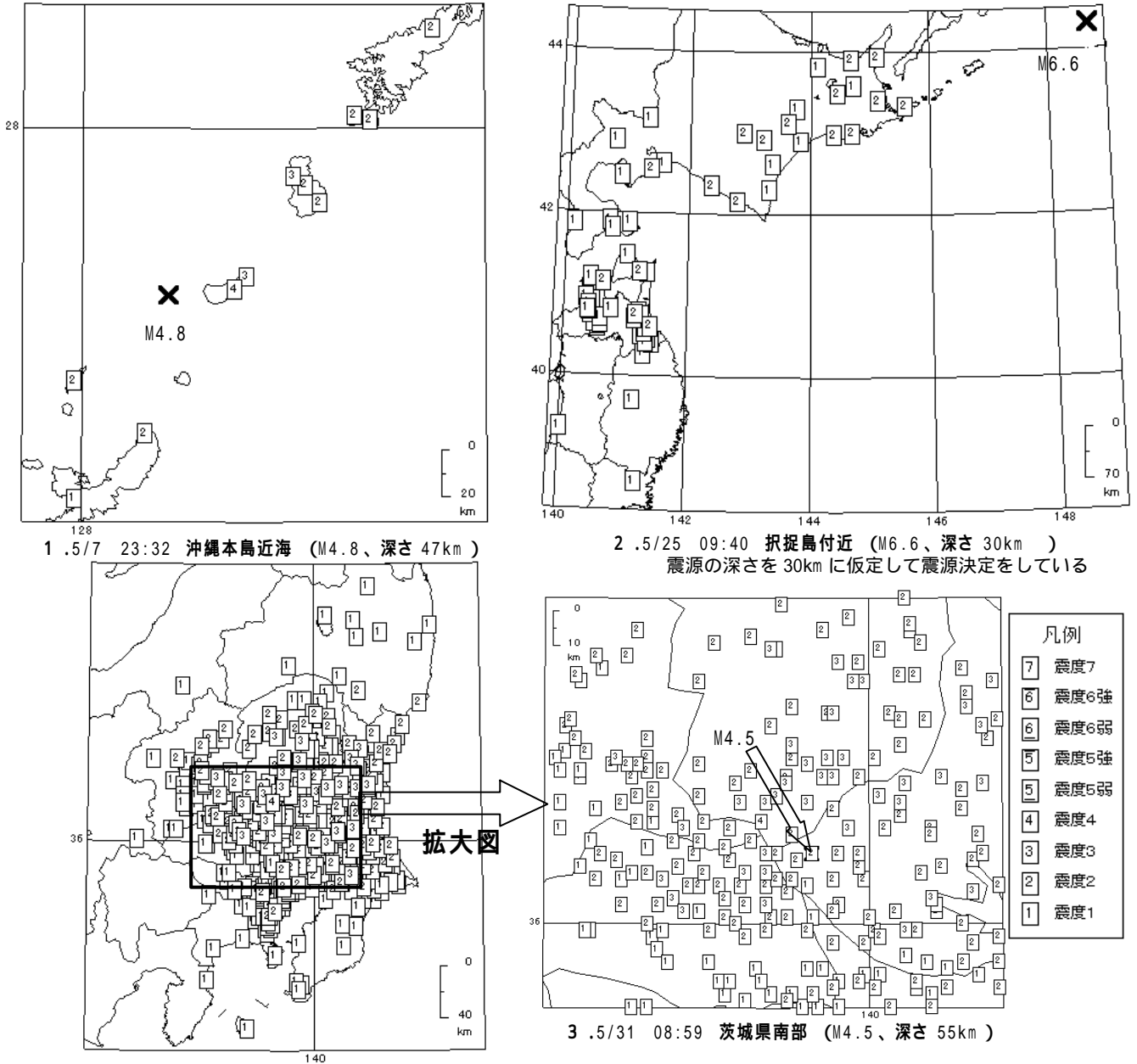


図 2 震度分布図 <地震の数字は、表 1 の番号に対応する>

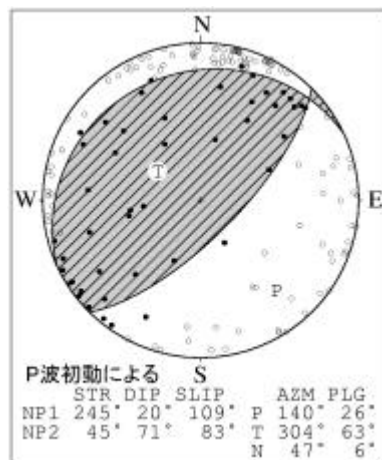


図 3 発震機構 <図の数字は、表 1 の番号に対応する>

主な地震のうち、求めた発震機構解（P波による初動解及び CMT(Centroid Moment Tensor) 解）を示す。図は下半球投影である。

ここに示した発震機構は再調査された後、修正されることがある。確定された P波初動による発震機構解は「地震・火山月報（カタログ編）」を参照。

発震機構の各パラメータについては、「地震観測指針（調査編）：気象庁 1990」参照。

世界の主な地震

5月に世界で発生したマグニチュード(M)6.0以上または被害を伴った地震の震央分布を図1に示す。また、その震源要素等を表1に示す。

2001 05 01 00:00 --- 2001 05 31 24:00

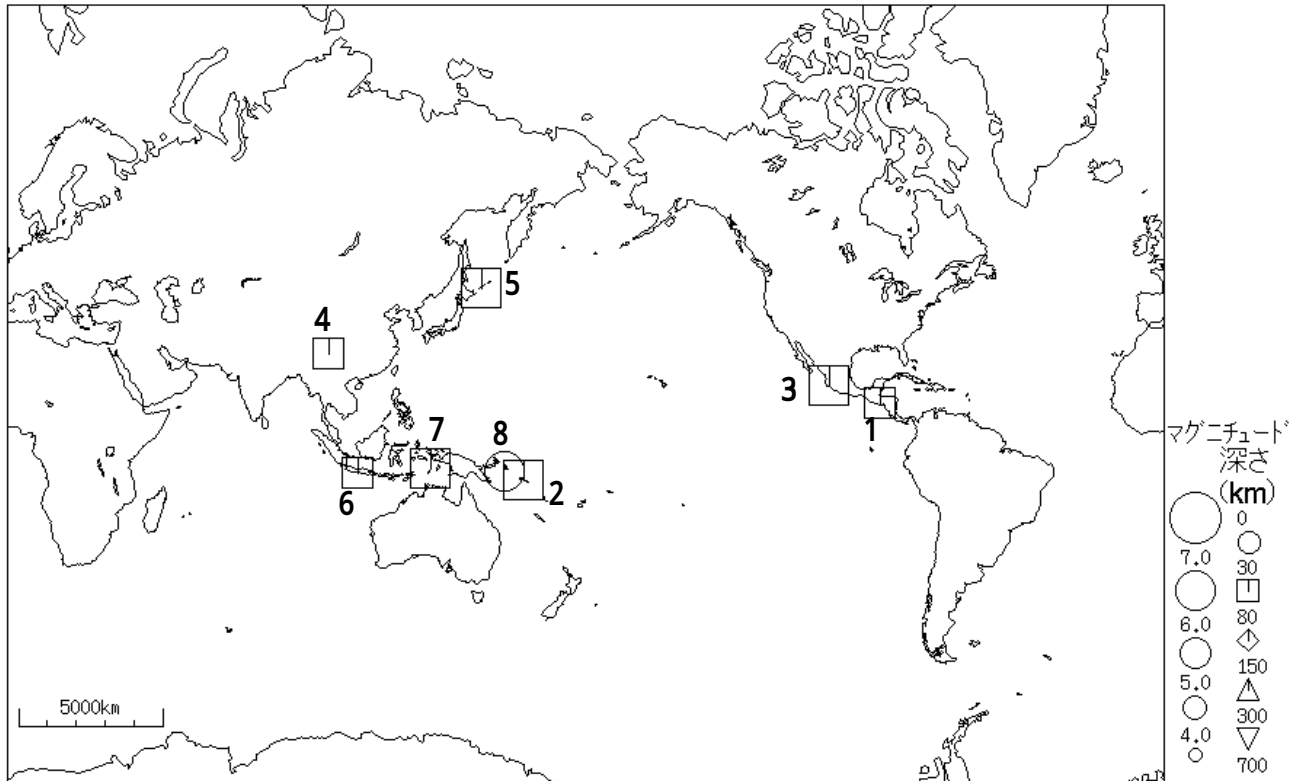


図1 2001年5月に世界で発生したM6.0以上または被害を伴った地震の震央分布
 <震源要素は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による>

* : 数字は、表1の番号に対応する。
 ** : マグニチュードはMb(実体波マグニチュード)、Ms(表面波マグニチュード)のいずれか大きい値を表示している。

表1 2001年5月に世界で発生したマグニチュード6.0以上または被害を伴った地震の震源要素等

番号	月日時分	緯度	経度	深さ(km)	Mb	Ms	Mw	震央地名	被害状況
1	05月09日03時02分	N13°39.3'W	88°38.1'	33#	5.2	5.4		エルサルバドル	建物被害100棟以上、地滑り等
2	05月10日02時38分	S10°21.3'E	161°16.7'	68	6.0		6.3	ソロモン諸島	
3	05月20日13時21分	N18°49.5'W	104°17.9'	33#	5.5	6.0	6.3	メキシコ西岸付近	
4	05月24日06時10分	N27°48.1'E	100°58.7'	33#	5.0	5.3		中国 雲南省	死者2名、負傷者605名等
5	05月25日09時40分	N44°19.1'E	148°42.4'	30	6.1	(6.6)	6.6	択捉島付近	
6	05月25日14時05分	S 7°53.9'E	110°00.2'	33#	5.8	5.5	6.3	インドネシア ジャワ島	負傷者数名等
7	05月28日17時37分	S 6°39.3'E	132°23.1'	49	6.0		6.1	インドネシア タニンバル諸島	
8	05月30日08時37分	S 7°00.8'E	155°00.7'	14*	5.7	6.4	6.2	ソロモン諸島	

・震源要素、被害状況等は米国地質調査所(USGS)発表のQUICK EPICENTER DETERMINATIONS(QED)による(2001年6月4日現在)。ただし、日本付近で発生した地震については震源及びマグニチュード(Msの欄に括弧を付して記載)は気象庁、被害状況は総務省消防庁による。
 ・時分は震源時で日本時間[日本時間=協定世界時+9時間]である。
 ・MwはUSGSのモーメントマグニチュードである。
 ・USGSによれば、震源の深さ「33#」は、震源計算による深さの精度が得られないため、「33km」に固定していることを示す。
 震源の深さ「14*」は、震源計算による深さではなく、別の方法による推定値である。

日本の主な火山活動

全国の火山の概況

三宅島の噴煙活動は依然活発で、多量の火山ガスの放出が継続している。27 日には火山灰を含む噴煙を観測した。有珠山では噴火活動が継続している。桜島では噴火・爆発があった。薩摩硫黄島、諏訪之瀬島では島内で降灰があった。図 1 以下には、噴火をした火山（○）、観測データ等に变化のあった火山（#）を示す。



図 1 2001 年 5 月に活動した火山

表 1 過去 1 年間に活動した火山

火山名	2000年					2001年							
	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月
雌阿寒岳													
十勝岳													
樽前山													
有珠山													
北海道駒ヶ岳													
岩手山													
吾妻山													
安達太良山													
磐梯山													
那須岳													
日光白根山													
浅間山													
新潟焼山													
富士山													
伊豆大島													
神津島東方海域													
三宅島													
硫黄島													
福徳岡ノ場													
九重山													
阿蘇山													
雲仙岳													
霧島山													
桜島													
開聞岳													
薩摩硫黄島													
諏訪之瀬島													

各火山の活動概況

本文の火山名の後ろの[]内の[噴煙・噴気・地震・微動・空振・地殻変動・熱・火山ガス等]は、掲載した理由となった火山現象を示す。

雌阿寒岳 [地震]

地震活動がやや活発であった。

7～9日にかけて地震がやや増加し（7日 23回）、やや振幅の大きな地震も発生した。月回数は 144 回（4月 198 回）であった（図 2）。火山性微動の発生はなく、噴煙等の表面現象にも変化はなかった。

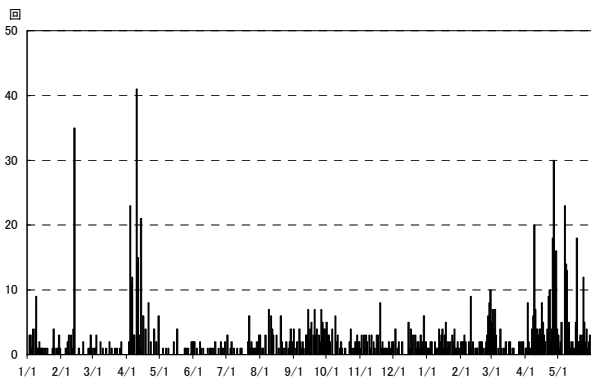


図 2 雌阿寒岳 日別地震回数
(2000 年 1 月～2001 年 5 月)

樽前山 [熱]

21 日に実施した現地観測では、赤外放射温度計による A 火口の温度は 641 で、前回（2000 年 11 月、453）に比べて 200 程度の温度上昇がみられた。600 以上を観測したのは、1999 年 11 月の 619 以来である。

有珠山 [噴煙・微動・空振]

ごく小規模な水蒸気爆発を繰り返しており、噴石等の放出の規模も小さい状態が続いている。

金比羅山火口群では、K - B 火口がごく小規模な水蒸気爆発を繰り返し、少量の火山灰を含んだ噴煙を連続的に噴出している。風下側では火山灰が浮遊しており、時折弱い降灰もみられている。また、小規模な噴石等の放出が続いている。火口周辺では弱い爆発音や空振が体感されているが、噴火に伴う空振や火山性微動の振幅は小さい状態が続いている。

遠望観測では、噴煙の高さの最高は、火口上 700m（白色、11 日）であった（4 月 600m）。

地震回数は 1 日当たり 0～5 回で、月回数は 40 回（4 月 23 回）であった。

気象庁の GPS 観測では、西山西麓を中心とする地殻変動はほぼ停止している。

岩手山 [噴気・地震]

噴気活動が依然活発で、地震活動も継続している。

地震回数（東北大学松川観測点）は 1 日当たり 0 ～ 5 回で、月回数は 62 回（4 月 61 回）であった。

2 日、滝ノ上付近を震源とする M2.9 の地震が発生し、雫石町長山で震度 1 を観測した。震度 1 以上の地震を観測したのは、4 月 1 日の M1.7（最大震度 1）以来である。

火山性微動は、5、27 日に発生した。火山性微動が発生したのは、2000 年 11 月 15 日以来である。

岩手山東側のやや深いところ（深さ 10km 前後）を震源とする低周波地震は 6 回（4 月 3 回）発生した。震源がモホ面付近（深さ 30km 前後）とみられる低周波地震は 15 回（4 月 5 回）発生した。単地震（単一周波数成分で構成された地震）は発生しなかった（4 月 1 回）。

遠望観測では、黒倉山山頂の噴気の高さは 4、5、17 日に一時 150m、27 日に 200m に達するなど、依然として活発な状態が続いている（図 3）。

24 日に、岩手県の協力により行った上空からの観測では、表面現象等に変化は認められなかった。

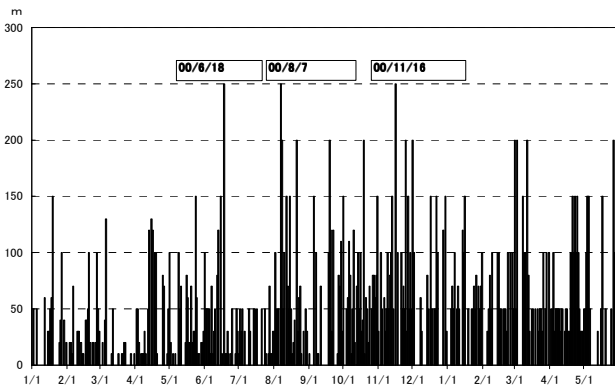


図 3 岩手山 日別最大噴気の高さ
（2000 年 1 月～2001 年 5 月）

吾妻山 [地震]

地震活動が一時的に活発になった。また、低周波地震が引き続き発生した。

21～22 日にかけて地震活動が一時的に活発になり、21 日に 39 回（1998 年 11 月の観測点移設以来最多）、22 日に 12 回の地震が発生した（図 4）。

3 月下旬から発生している山体直下の浅いところが震源とみられる低周波地震は 1 日当たり 0 ～ 14 回発生し、月回数は 54 回（4 月 40 回）となった。震源がモホ面付近とみられる低周波地震はなかった。噴気活動等に変化はみられなかった。

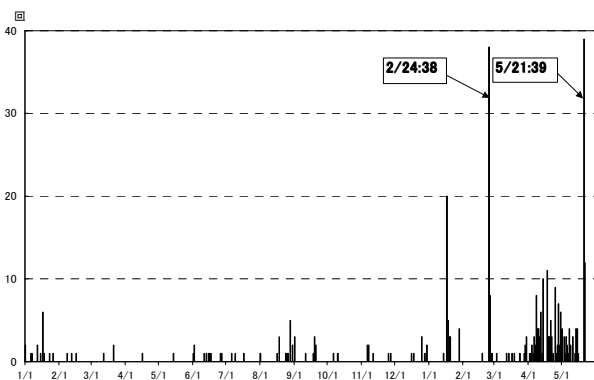


図 4 吾妻山 日別地震回数
（2000 年 1 月～2001 年 5 月）

磐梯山 [地震]

やや活発な地震活動が依然継続している。

地震回数は 1 日当たり 0 ～ 10 回で、月回数は 91 回（4 月 234 回）であった（図 5）。

火山性微動は 22、30 日にそれぞれ 1 回発生した（4 月 2 回）。

山体直下の浅いところを震源とする低周波地震は、7 回（4 月 5 回）発生した。震源がモホ面付近（深さ 30km 前後）とみられる低周波地震（4 月 1 回）及び震度 1 以上を観測した地震は発生しなかった。

遠望観測では、火口壁の噴気はこの期間観測されていない。

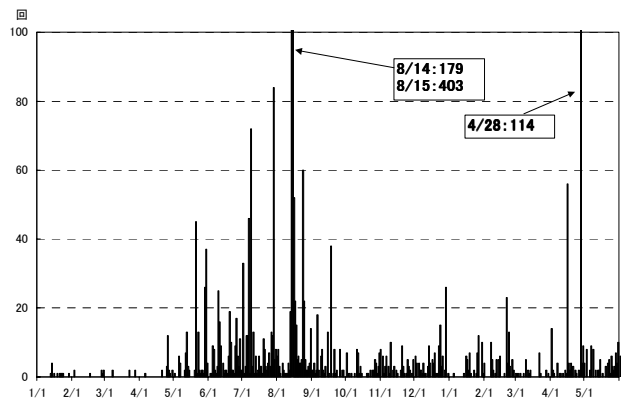


図 5 磐梯山 日別地震回数
（2000 年 1 月～2001 年 5 月）

那須山 [地震]

地震活動が一時的に活発になった。

振幅の小さい地震が一時的に増加し、3 日に 42 回、18 日に 28 回発生した。日回数が 20 回以上となったのは、2000 年 3 月 13 日の 71 回以来である。それ以外は 1 日当たり 0 ～ 5 回で、月回数は 103 回であった（4 月 9 回）。火山性微動及び震度 1 以上を観測した地震はなかった。

浅間山 [地震・噴煙]

地震活動が一時的に活発になった。噴煙活動がやや活発な状態が続いている。

地震回数は 1 日当たり 0 ～ 36 回、月回数は 137 回で、4 月の 903 回に比べて、かなり減少した状態となった。火山性微動及び震度 1 以上を観測した地震はなかった（図 6）。

遠望観測では、噴煙の高さの最高は火口上 1,200m（白色、17 日）で（4 月 1,000m）噴煙活動は引き続きやや活発な状態で経過した。

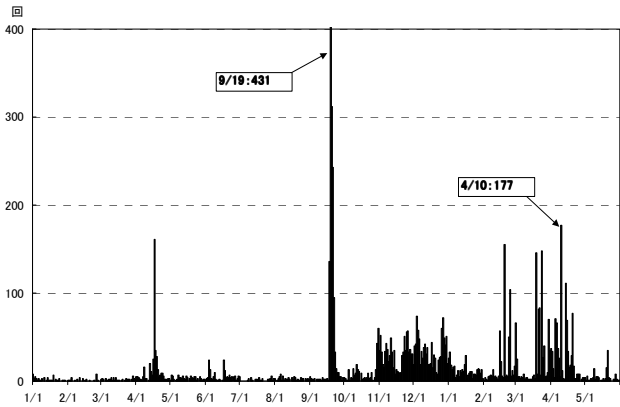


図 6 浅間山 日別地震回数
(2000年1月～2001年5月)

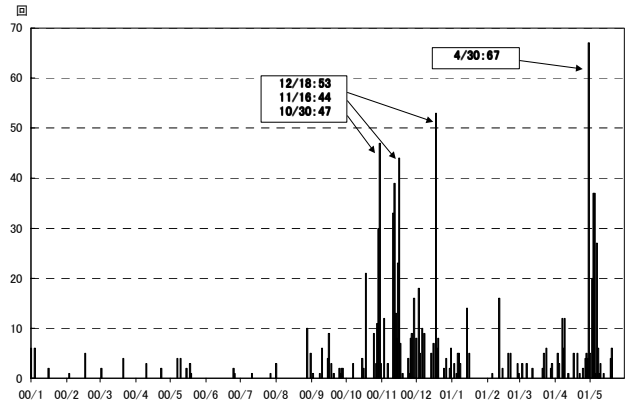


図 8 富士山 日別低周波地震回数
(2000年1月～2001年5月)

新潟焼山 [噴気]

噴気活動がやや活発な状態であった。

遠望観測によると、山頂東側噴気孔からの噴気の高さは 50～300m であり、依然やや活発な噴気活動が続いている(図7)。

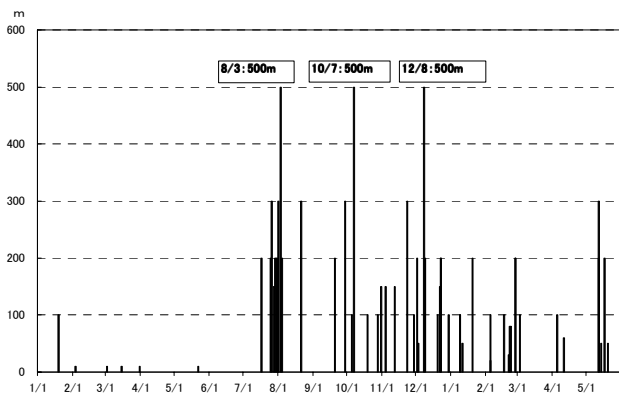


図 7 新潟焼山 日別最大噴気の高さ
(2000年1月～2001年5月)

富士山 [地震]

低周波地震が多発した。

地震回数は、2日に20回、4、5日に37回、7日に27回と多い状態であった。これ以外は1日当たり0～8回で、月回数は171回(4月133回)、うち低周波地震は164回であった(図8、表2)。震源はこれまでと同様、山体の北東側深さ15km付近であった。このうちM2.0以上となる低周波地震(4月1回)及び震度1以上を観測した地震はなかった。

防災科学技術研究所による地殻変動観測では、異常な変化は観測されていない。

表 2 富士山月別低周波地震回数
(1995年6月～2001年5月)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1995年						10	8	9	3	10	27	24
1996年	24	6	6	35	6	6	0	0	3	4	0	18
1997年	25	0	0	0	8	6	10	53	3	14	17	8
1998年	41	1	36	9	31	12	9	0	30	0	2	20
1999年	2	0	6	17	3	53	21	2	12	27	20	0
2000年	14	6	6	5	14	3	2	18	32	133	221	143
2001年	36	33	26	132	164							

三宅島 [火山ガス・噴煙・微動・地震・熱・地殻変動]

山頂火口からの噴煙活動は依然活発であり、27日に有色噴煙を観測した。また、多量の火山ガスの放出が継続している。

今期間も、山頂火口からは連続的に噴煙を放出している。27日05時05分、06時04分頃に、火山灰を含む灰白色の噴煙が上がるのを確認し、そのうち06時04分の噴煙は火口上1,200mに達した(05時05分は不明)。これらの噴煙に伴い、島の東部の都道沿いで少量の降灰(厚さ1mm未満)が確認された。有色噴煙を確認したのは、2001年3月19日の噴煙(灰白色、800m)以来である。それ以外は火山灰を含む噴煙は観測されず、水蒸気を中心とする白色噴煙であった。噴煙の高さは火口上100～2,200mで、最高は火口上2,200m(白色、6日)であった(4月2,000m)。

地震活動は2000年9月中旬以降引き続き低調で、地震回数(基準観測点で約 $20 \times 10^{-3} \text{cm/sec}$ 以上)は7、13、21、31日に1回で、月回数は4回(4月2回)であった。これらの地震により、7日に震度3、13日に震度1を三宅村神着で、21日に震度1を三宅村坪田で、31日に震度2を三宅村神着・三宅村坪田で観測した。振幅の小さな低周波地震は、5日に446回と多発したが、噴煙活動等に異常はなかった。それ以外は1日当たり0～10回で、今期間517回発生した(4月12回)。

1月以降、時折まとまって火山性微動が発生する現象は、今期間も頻繁にみられた。これらの中には振幅の小さい空振を伴うものもあった。その中で基準観測点の地震計で振り切れる大きさ(約 $60 \times 10^{-3} \text{cm/sec}$ 以上)の微動が時折発生し、そのうち27日07時23分の微動は三宅村神着、三宅村坪田で、30日11時34分の微動は三宅村神着で震度1を観測した。また、27日05時05分、06時04分の微動は、有色噴煙を伴うものであった。連続的に観測されている噴出に伴う火山性微動は、引き続き振幅の小さい状態が続いている。

三宅島の収縮を示す地殻変動は鈍化したが、わずかながら継続している。

気象庁・産業技術総合研究所・大学合同観測班が行った上空からの観測*によると、主火口から白色噴煙の多量の放出は依然継続しているが、4月同様、山体や火口の地形に大きな変化はなかった。主火口からの噴煙の温度は依然高い状態であり、上空から行った赤外放射温度計による観測では、150～300以上(4月150～360)であった。また、12月下旬～1月中旬の夜間に、高感度カメラ(御蔵島)でみられた山頂付近の火映は観測され

なかった。

気象庁が行った二酸化硫黄の放出量の観測**では、約 10,000~46,000 トン/日と、今期間も依然高いレベルでの放出が継続した(4月 10,000~34,000 トン/日)また、上空からの観測によると、二酸化硫黄と思われる青白い火山ガスが、火口上空から風下に流れているのが観測された。(以上、図 9)

* : 警視庁・東京消防庁の協力による。
 ** : 海上自衛隊・海上保安庁の協力による。

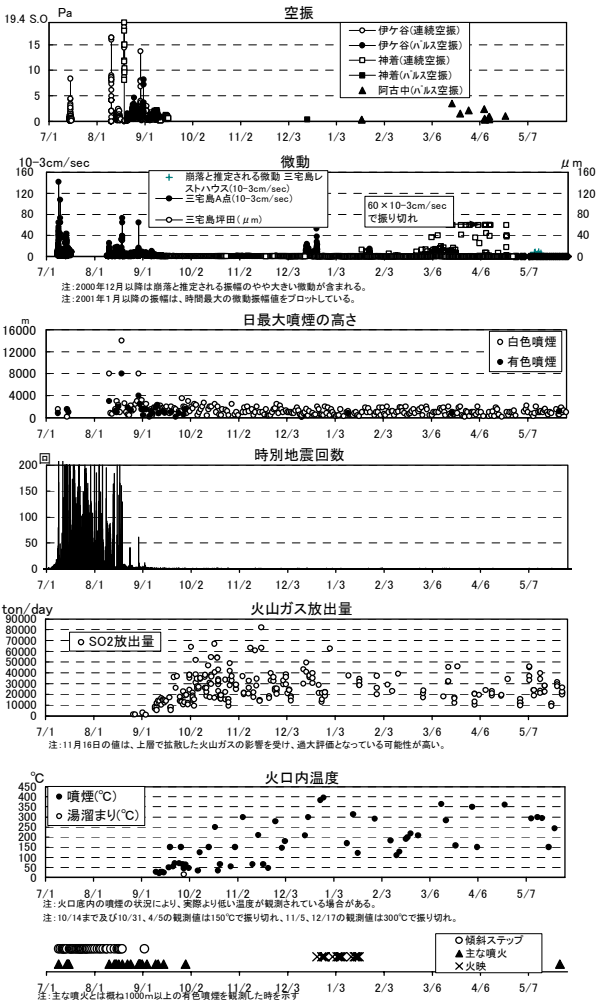


図 9 三宅島 活動経過図 (2000年7月~2001年5月)

阿蘇山 [熱・噴湯]

引き続き火口壁の赤熱を観測した。噴湯、湯だまりの減少も観測した。

2000年11月から確認されている中岳第一火口南側火口壁の一部の赤熱は、今期間も引き続き観測された。赤外放射温度計による火口壁の温度は 200~277 (4月 201~218) であり、高温の状態が続いている(図 10)。

火口内は全面湯だまり状態で、湯量は減少傾向が続いている。湯だまりの温度は 50~56 (4月 51~56) であった。5~8、25~29日に、湯だまりの濁り、中央付近での弱い噴湯現象を観測した。また、25日には、南側火口壁及び北西側中段火口丘の一部の崩落と、南側火口壁下での噴湯現象(3月以来)を観測した。

2月中旬以降増加した、孤立型微動の回数は前月に引き続き減少し、37回(4月 80回)となった。23日に振

幅の大きな特殊微動(最大 5.0 μm、継続時間約 130 秒)が発生したが、表面現象等は、悪天候及び夜間のため不明であった。

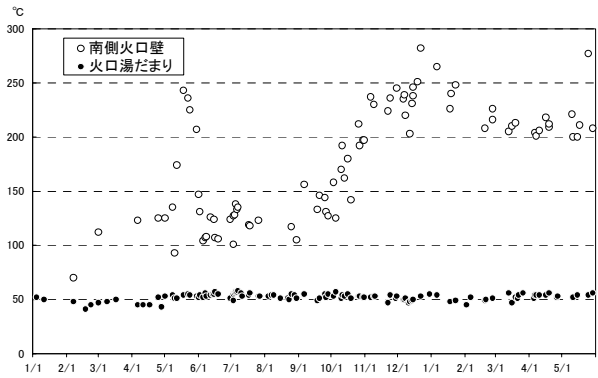


図 10 阿蘇山中岳第一火口南側火口壁及び湯だまりの温度 (2000年1月~2001年5月)

桜島 [噴煙・降灰・空振]

引き続き噴火・爆発を繰り返した。

噴火回数は 12 回(4月は 4 回)で、うち爆発は 7 回(4月は 2 回)であった。7 回の爆発のうち、体感空振を観測した爆発は 3 回(4月は 1 回)であった。噴石(4月は 1 回)及び爆発音を観測した爆発はなかった。火口からの噴煙の高さの最高は、26 日の噴火(爆発)の火口上 2,200m(4月 1,200m)であった(以上、図 11)。

鹿児島地方気象台における降灰日数は 4 日(4月は 7 日)で、月間の降灰量は 5 g/m²(4月は 1 g/m²)であった。

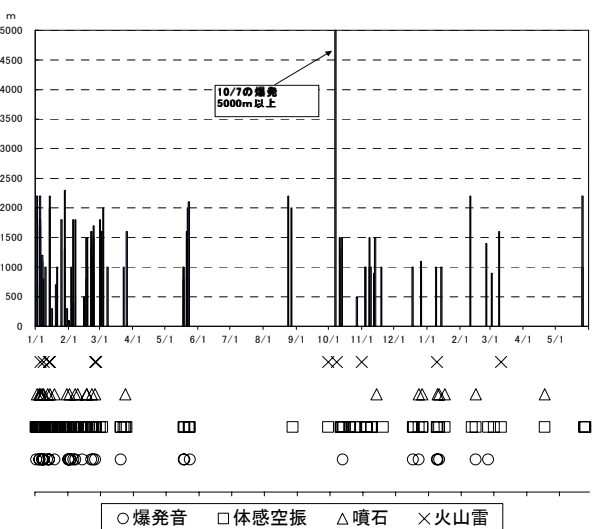


図 11 桜島 爆発時の噴煙の高さ及び伴う現象 (2000年1月~2001年5月)

薩摩硫黄島 [降灰・地震・微動]

活発な地震活動が継続し、火山性微動を観測した。

規模の小さな地震の多い状態が続く、地震回数は 1 日当たり 53~83 回(4月 43~87 回)で、月回数は 2,094 回(4月 2,224 回)であった(図 12)。また、振幅の小さな火山性微動が時折発生した。

三島村役場硫黄島出張所によると、15、29 日に島内で少量の降灰があった。

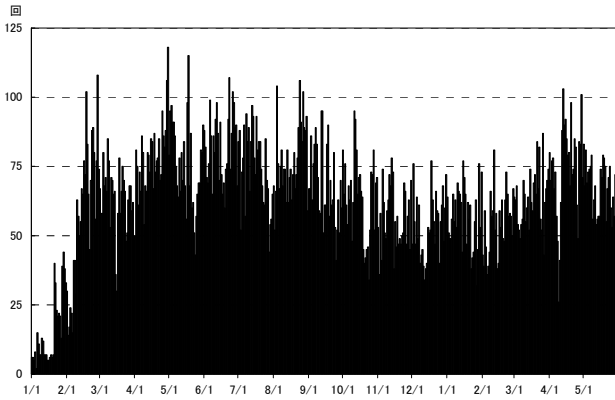


図 12 薩摩硫黄島 日別地震回数
(2000年1月～2001年5月)

諏訪之瀬島 [噴煙・降灰・微動]

噴煙活動が活発な状態であった。島内で多量の降灰を確認した。

十島村役場によると、今期間、一時噴火活動が活発であった。10日朝に黒色の噴煙を約500m上げ、11～12日にかけては灰色の噴煙を約1,000～1,500m上げているのを確認した。12日に鹿児島県の協力で行った上空からの観測では、2000年12月にできた新しい火

口（御岳火口東側斜面上側）から灰色の噴煙を上げているのを確認した。また、10～12日に、島内で多量の降灰を確認した（以上図13）。

10日夜から13日にかけて、噴火に伴う火山性微動が断続的に発生し、12日には爆発に伴う空振が4回発生した。京都大学防災研究所火山活動研究センターの空振計によると、10日夜から噴火に伴う微弱な空振を、12日には爆発に伴う空振を4回観測した。

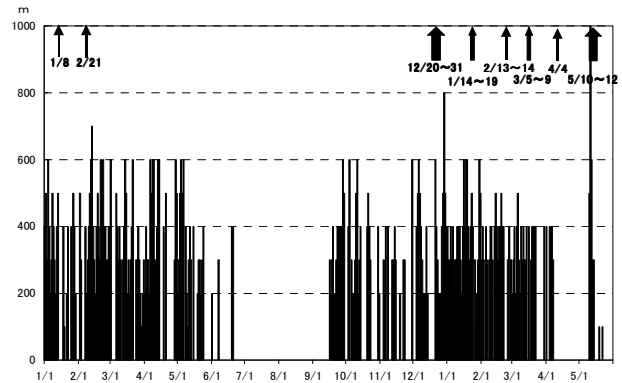


図 13 諏訪之瀬島 日別最大噴煙の高さ
(2000年1月～2001年5月) 十島村役場による降灰を確認した日を示す

表 3 2001年5月の火山情報発表状況（定期火山情報を除く）

火山名	火山情報名	発表日時	発表官署	概要
有珠山	火山観測情報第19号	3日11時30分	室蘭地方気象台	噴火・地震・微動の状況
	火山観測情報第20号	10日11時30分		噴火・地震・微動の状況
	火山観測情報第21号	17日11時30分		噴火・地震・微動の状況
	火山観測情報第22号	24日11時30分		噴火・地震・微動の状況
	火山観測情報第23号	28日18時40分		火山噴火予知連絡会検討結果
	火山観測情報第24号	31日11時30分		噴火・地震・微動の状況
岩手山	火山観測情報第5号	16日14時00分	盛岡地方気象台	地震・微動・噴気の状況
	火山観測情報第6号	29日14時00分		火山噴火予知連絡会検討結果
吾妻山	火山観測情報第1号	29日11時00分	福島地方気象台	火山噴火予知連絡会検討結果
磐梯山	火山観測情報第23号	11日13時30分	若松測候所	地震・噴気の状況
	火山観測情報第24号	29日11時00分		火山噴火予知連絡会検討結果、地震・噴気の状況
三宅島	火山観測情報第238号 (1日2回発表)	1日09時30分	気象庁地震火山部・ 三宅島測候所	噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動発生状況及び上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想
	火山観測情報第289号	26日16時30分		小規模噴火の発生
	火山観測情報第290号	27日07時00分		噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動発生状況及び上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想
	火山観測情報第291号 (1日2回発表)	27日09時30分		火山噴火予知連絡会統一見解
	火山観測情報第294号	28日16時30分		噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動発生状況及び上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想
	臨時火山情報第2号	28日18時30分		火山噴火予知連絡会統一見解
	火山観測情報第295号 (1日2回発表)	29日09時30分		噴煙・地震・微動・空振・火山ガス・地殻変動発生状況及び上空からの観測結果、及び上空の風・火山ガスの移動予想
火山観測情報第300号	31日16時30分	火山噴火予知連絡会検討結果		
阿蘇山	火山観測情報第5号	25日11時00分	阿蘇山測候所	火口壁の赤熱等、火山活動現象
諏訪之瀬島	火山観測情報第3号	10日16時30分	鹿児島地方気象台	噴煙活動の活発化
	火山観測情報第4号	11日13時00分		噴煙・微動の状況
	火山観測情報第5号	12日15時00分		噴煙・微動の状況

第 89 回火山噴火予知連絡会

平成 13 年 5 月 28 日、第 89 回火山噴火予知連絡会を開催した。同連絡会は、最近の火山活動について委員及び各関係機関からの報告をもとにとりまとめ、終了後、気象庁から以下のとおり発表した。

第 89 回火山噴火予知連絡会 全国の火山活動について

2001 年 2 月以降の全国の火山活動状況は以下のとおりです。

三宅島では引き続き多量の火山ガスの噴出を伴う噴煙活動が継続しています。別紙のとおり統一見解を発表しました。

有珠山では火山活動が低下し、マグマの供給は終息しましたが、小規模な噴出を伴う活動が、限られた地域で継続しています。

樽前山では地震活動が一時活発化し、火口の温度も高い状態が続いています。

岩手山では地震活動、地殻変動等に大きな変化はないものの、噴気活動は活発な状態が続いています。

吾妻山では低周波地震が発生するなど地震活動が活発になっています。

磐梯山では、山頂直下を震源とする地震、および浅い低周波地震が引き続き発生しています。

これらの火山では、今後も火山活動に注意が必要です。

1. 北海道地方

1) 雌阿寒岳

・火山性地震は 2000 年 8 月以降やや多い状態が続いていましたが、2001 年 4 月以降になって、南方域で一時的な増加が時々見られるようになりました。

・ボンマチシネリ 96 - 1 火口の噴煙量は 1999 年 11 月以降少ない状態が続いています。

2) 十勝岳

・62 - 2 火口は活発な噴煙活動を続けています。
・地震活動は低調な状態で経過しました。

3) 樽前山

・火山性地震の一時的な増加が時々見られました。
・A 火口の温度は、5 月に 641 が観測され、高温の状態が続いています。
・ドーム南西火口では活発な噴煙活動が続いています。

4) 有珠山

・金比羅山火口群の K - B 火口での小規模な噴出を伴う活動は、変動を繰り返しながらも、全体的には昨年に比べて小さくなってきています。この活動に伴う火山性微動の振幅、空振も小さくなってきています。
・西山西麓火口域では弱い白色噴煙と周辺での地熱活動が継続しています。
・地震活動は噴火前の状態に戻りました。
・西山西麓を中心とする地殻変動は、わずかな沈降に転じています。また、有珠山山体全体は収縮を続けています。
・これらのことから、マグマの供給は停止し、2000 年 3 月に始まったマグマの活動は終息したと判断されます。
・なお、金比羅山火口群と西山西麓火口群では、同

様の活動が当分の間継続すると考えられますので、これらの火口付近では引き続き注意が必要です。

5) 北海道駒ヶ岳

・2 月以降、火山性微動は発生せず、昭和 4 年火口の噴煙量も少なく、火山活動は静穏な状態で経過しました。

2. 東北地方

1) 岩手山

・4 月 1 日の小松倉山付近を震源とするマグニチュード(M)1.7、5 月 2 日の滝ノ上付近を震源とする M2.9 の火山性地震により、雫石町長山で震度 1 を観測しました。
・黒倉山山頂の噴気の高さは 3 月に 200m に達するなど、岩手山西側の噴気活動は活発な状態が続いています。
・地震回数には大きな変化が見られませんが、岩手山西側の姥倉山から黒倉山の噴気活動は活発な状態が続いていることから、水蒸気爆発などが発生する可能性のある状態が依然として続いています。今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

2) 吾妻山

・振幅の小さい火山性地震が時折、一時的に増加しました。5 月 21 ~ 22 日にも一時的に増加し、51 回の火山性地震が観測されました。
・山体直下の浅いところが震源とみられる低周波地震が 3 月 28 日から発生し始め、4 月の月合計で 40 回となりました。5 月に入っても、低周波地震が断続的に続いています。
・このように、地震の回数が増加し、低周波地震も時々発生するなど活動がやや上向いてきました。今後、火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

3) 安達太良山

・遠望観測装置（監視カメラ）によると、2 月 9 日に沼ノ平の噴気の高さ 300m を観測しました。噴気の高さが 300m に達したのは、2000 年 2 月 19 日の 300m 以来です。

4) 磐梯山

・4 月 28 日に火山性地震が多発し、この日の回数は 114 回に達しました。一日の地震回数が 100 回を超えたのは、2000 年 8 月 15 日の地震活動活発化以来です。
・火山性微動は 2 月に 5 回、4 月に 2 回観測されました。
・このように、地震活動が一時活発化し、低周波地震や火山性微動が時々発生するなど活動が依然として活発であることから、現時点では、小規模な水蒸気爆発の可能性は残っています。今後も火山活動の推移を注意深く見守る必要があります。

3. 関東・中部地方

1) 那須岳

・5 月 3 日、18 日に地震の回数が一時的に増加しました。

2) 浅間山

・2 月中旬から 4 月中旬にかけて、短い期間に一時的に地震が急増する活動を繰り返しました。
・2000 年 11 月下旬以降増加した噴煙量は、引き続き多い状態になっています。

3) 富士山

- ・ 4月から5月にかけて、低周波地震の回数が増加しました。震源は1月までと同様、山頂北東側の深さ15km付近で、特に変化はありません。
- ・ 地殻変動観測では特に変化は観測されていません。
- ・ これらのことから、ただちに噴火等、活発な火山活動に結びつくものではないと考えられます。

4) 新島・神津島

- ・ 地震活動は新島・神津島付近から三宅島付近にかけて、低調ながらも続いています。
- ・ 地殻変動は、完全な停止には至っていません。

5) 日光白根山

- ・ 3月31日に山頂付近の深さ約10kmを震源とするM4.9の地震が発生しました。この地震を含めて、一時的に地震が多発しました。このように地震が多発したのは、1999年11月以来です。

6) 三宅島

- ・ 別紙のとおり統一見解を発表しました。

4. 九州地方

1) 九重山

- ・ 4月23日に陸上自衛隊の協力により実施した上空からの観測で、硫黄山南斜面に青白色の噴煙が確認されました。
- ・ 5月7～9日にかけて九重山の北西約5kmを震源とする地震が多発しました。

2) 阿蘇山

- ・ 2000年11月29日に中岳第一火口の南側火口壁の一部で観測された赤熱現象は、現在も継続しています。
- ・ 4月6～7日に南側火口壁下で土砂噴出(1ヶ所)が観測されました。

3) 桜島

- ・ 南岳の爆発回数は、2月4回、3月4回、4月2回、5月は27日までに7回でした。

4) 薩摩硫黄島

- ・ 体に感じない微小な火山性地震が多い状態が続き、日に約40～100回発生しています。
- ・ 2000年12月5日から観測されている間欠的な火山性微動は継続中です。
- ・ 島内で降灰が時折観測されました。

5) 諏訪之瀬島

- ・ 5月10日から噴火活動が活発となり、島内で多量の降灰が観測されました。また、噴火に伴う連続微動も観測されました。
- ・ 5月12日には爆発地震が4回観測されました。

5. 海底火山

1) 福德岡ノ場

- ・ 2月16日に、南北に延びる幅約20m、長さ約90mの帯状で薄い黄緑色の変色水域が確認されました。2月26日にも、小規模の薄緑色の変色水域が確認されました。
- ・ 3月5日に、幅約200m、長さ約200mの濃黄緑色の変色水域が観測されました。翌6日にも、その変色水域の西南西に幅約200m、長さ約800mで西南西方向に広がる濃黄緑色の変色水域が観測されました。

平成 13 年 5 月 28 日
気象庁

三宅島の火山活動に関する 火山噴火予知連絡会統一見解

三宅島では、依然として、多量の火山ガスを山頂火口から放出する火山活動が続いています。

昨年10月以降、三宅島では、白色の噴煙が連続的に噴出されてきました。3月19日及び5月27日には小規模な噴火があり、一時的に火山灰の放出が見られました。しかし、それらを除き降灰はほとんど認められていません。

上空からの目視観測による噴煙量は、昨年に比べ低下傾向が見えますが、4月以降わずかに増減があります。

山頂火口からの二酸化硫黄の放出量も、昨年に比べて低下していますが、1日当たり約2～3万トン程度の高い値を保持しています。三宅島の収縮を示す地殻変動は、次第に鈍化してきています。収縮はマグマからの火山ガスの放出による体積変化に対応するという考えが、有力になってきました。

昨年9月以降、火山性地震の回数は少ない状態が続いてきましたが、3月以降、時折振幅のやや大きな低周波地震や微動が発生し、空振を伴うものも発生しています。

また、3月から4月にかけて火口直下の温度低下を示すとも考えられる全磁力変化が観測されました。

以上のように、三宅島の火山ガスの放出活動は低下の兆しが現れていると考えられます。火山ガス放出量の低下により、火口直下の温度が下がり、火道の一部が閉塞や解放を繰り返して、火山灰の噴出、低周波地震、火山性微動が発生していると考えられます。

今後も、火道の部分的な閉塞等によって、小規模な噴火が発生する可能性があります。しかし、脱ガスの進行によって火山の活動は全体としては低下傾向にあり、山麓に影響するような大きな規模の噴火の可能性は低いと考えられます。

火山ガスの放出には若干の低下傾向が見られるものの、放出量は現在も依然として高く、このような活動は今後も続くと考えられますので、引き続き火山ガスに対する警戒が必要です。

また、雨による泥流にも引き続き注意が必要です。

付表 1. 震度1以上が観測された地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査された後、修正されることがある。確定された震源要素は「地震・火山月報(カタログ編)」、震度データは「地震年報」を参照。震度データは都道府県別に掲載し、各観測点の末尾に計測震度(各年の地震・火山月報(防災編)12月号参照)を記した。なお、*のついている地点は、地方公共団体の震度観測点、(注)を付した地震については、近接した地域ではほぼ同時に発生した地震であるため震度の分離ができないことを示す。震源の深さの後に「F」を付した地震は、その深さに仮定して震源決定していることを示す。

平成12年(2000年)鳥取県西部地震の余震活動、三宅島近海～新島・神津島近海の地震活動は、最大震度3以上を観測した地震について掲載した。震度1以上を観測した地震については、それぞれ付表1-1、1-2にを掲載した。鳥取県西部地震の余震活動は余震域が広いいため震央地名が実際の行政区画と一致しない場合がある。

震度3以上が観測された地震については、震源要素を太字で表示した。

地震番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
1	1 04 11	山口県西部 山口県 1 美祢市大嶺町*=0.9 山口菊川町田部*=0.7 山口楠町船木*=0.5	34°04.7' N	131°05.0' E	15km	M: 3.4
4	1 19 15	安芸灘 広島県 1 広島大崎町中野=0.7	33°58.0' N	132°44.8' E	48km	M: 3.4
5	1 20 51	淡路島付近 兵庫県 1 西淡町湊*=1.0	34°22.4' N	134°45.7' E	13km	M: 3.0
6	1 22 01	新島・神津島近海 東京都 3 新島村式根島=3.4 新島村本村*=2.7 神津島村金長=2.5 神津島村役場*=2.5 2 新島村川原=2.3 利島村=1.7 三宅村神着=1.5 1 伊豆大島町差木地=0.9 千葉県 1 館山市長須賀=0.9 神奈川県 1 横浜中区山手町=0.5	34°15.3' N	139°15.7' E	7km	M: 4.2
9	2 01 17	伊予灘 広島県 1 倉橋町鶯ヶ巣=0.5 愛媛県 1 丹原町鞍瀬丁=0.5	33°33.3' N	132°23.2' E	46km	M: 3.7
11	2 12 43	岩手県内陸北部 岩手県 1 雫石町長山=0.7	39°48.2' N	140°53.2' E	6km	M: 2.9
12	6 05 48	淡路島付近 大阪府 2 泉佐野市市場*=1.5 1 熊取町野田*=1.2 大阪田尻町嘉祥寺*=1.1 大阪岬町深日*=0.8 富田林市高辺台*=0.8 泉佐野市りんくう往来*=0.7 泉南市信達市場*=0.6 阪南市尾崎町*=0.6 兵庫県 2 兵庫東浦町久留麻=1.6 明石市中崎=1.5 1 北淡町富島=1.4 三木市細川町=1.2 神戸西区神出町=1.1 津名町中田=0.9 加古川市加古川町=0.8 南淡町福良=0.8 神戸中央区中山手=0.6 洲本市小路谷=0.6 神戸長田区細田町=0.5 岡山県 1 岡山佐伯町矢田*=0.5 香川県 1 香川池田町池田*=1.4 土庄町甲=1.2	34°27.7' N	134°50.1' E	17km	M: 3.8
13	6 09 25	長野県南部 長野県 1 長野高森町下市田*=0.6	35°42.4' N	138°03.0' E	14km	M: 3.1
15	7 02 18	三宅島近海 東京都 3 三宅村神着=2.9 2 三宅村坪田=1.6	34°05.0' N	139°32.6' E	13km	M: 2.8
17	7 07 49	兵庫県北部 兵庫県 1 村岡町川会=1.1	35°27.8' N	134°30.9' E	11km	M: 3.3
19	7 14 29	大分県西部 熊本県 1 産山村山鹿*=0.7	33°06.4' N	131°11.7' E	9km	M: 2.7
20	7 14 55	大分県西部 熊本県 1 産山村山鹿*=0.8	33°06.4' N	131°11.8' E	8km	M: 3.0
21	7 15 17	大分県西部 熊本県 1 産山村山鹿*=1.1 波野村波野*=0.9	33°06.5' N	131°12.2' E	9km	M: 3.1
22	7 15 30	大分県西部 熊本県 1 産山村山鹿*=1.0	33°06.7' N	131°12.0' E	10km	M: 2.9
23	7 17 03	大分県西部 熊本県 1 産山村山鹿*=0.6	33°06.7' N	131°12.4' E	8km	M: 2.7
24	7 17 16	大分県西部 熊本県 1 産山村山鹿*=1.4 波野村波野*=0.8	33°06.9' N	131°12.4' E	9km	M: 3.2
25 (注)	7 17 30 7 17 29	大分県西部 大分県西部 熊本県 1 産山村山鹿*=1.2 波野村波野*=0.7	33°06.6' N 33°06.4' N	131°12.0' E 131°12.7' E	9km 8km	M: 3.1 M: -.-

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
26 (注)	7 18 32	大分県西部	33°06.6' N	131°12.6' E	10km	M: 3.0
	7 18 32	大分県西部	33°06.9' N	131°12.5' E	8km	M: -.-
		熊本県 1 産山村山鹿*=1.0				
28	7 23 14	大分県西部	33°06.6' N	131°12.1' E	8km	M: 3.2
		熊本県 1 産山村山鹿*=1.1 波野村波野*=0.9 旭志村小原*=0.5				
		大分県 1 三重町市場=0.5				
29	7 23 32	沖縄本島近海	27°21.8' N	128°22.0' E	47km	M: 4.8
		鹿児島県 4 和泊町和泊*=3.5				
		3 和泊町国頭=3.3 天城町平土野*=3.2				
		2 瀬戸内町請島*=2.4 瀬戸内町与路島*=2.0 徳之島町亀津*=1.8 天城町当部=1.7 名瀬市港町=1.6				
		沖縄県 2 国頭村奥=2.4 伊平屋村我喜屋=1.6 1 名護市宮里=0.5				
31	8 06 27	十勝支庁南部	42°18.9' N	143°07.7' E	55km	M: 4.6
		北海道 3 浦河町朝見=2.6				
		2 静内町ときわ=1.7				
		1 苫小牧市しらかぼ=1.3 千歳市北栄=1.1 広尾町並木通=1.1 本別町北2丁目=0.9 美幌市西5条=0.9 音別町尺別=0.9 十勝清水町南4条=0.8 小樽市勝納町=0.7 帯広市東4条=0.7 江別市高砂町=0.5 忠類村明和=0.5				
33	9 02 51	京都府南部	35°06.8' N	135°41.4' E	13km	M: 2.9
		京都府 1 京都美山町島*=0.7 京北町周山*=0.7				
34	9 03 54	詳細不明(父島近海)				
		東京都 1 小笠原村三日月山=0.6 小笠原村父島=0.5				
36	9 19 48	愛媛県南予地方	33°27.8' N	132°43.7' E	43km	M: 4.1
		愛媛県 2 松野町松丸*=1.6				
		1 内子町内子*=1.3 五十崎町平岡*=1.3 久万町久万町*=1.2 野村町阿下=1.1 城川町下相*=1.1 愛媛三間町宮野下*=1.1 明浜町高山*=1.0 小田町町村*=1.0 砥部町宮内*=1.0 三瓶町朝立*=1.0 日吉村下鍵山*=1.0 河辺村植松*=0.9 保内町宮内*=0.8 津島町岩松*=0.8 中山町出瀨*=0.7 内海村柏*=0.6 一本松町広見*=0.5 愛媛吉田町東小路*=0.5				
		広島県 1 広島大崎町中野=0.7				
		山口県 1 山口東和町森*=0.7				
37	10 09 40	長野県中部	36°05.9' N	138°02.2' E	9km	M: 3.1
		長野県 1 下諏訪町役場*=0.6 塩尻市広丘高出*=0.5				
41	11 10 54	鹿児島県西方沖	32°00.9' N	129°09.5' E	23km	M: 3.5
		長崎県 1 富江町繁敷=0.5				
42	11 11 59	岩手県沖	39°33.1' N	142°04.1' E	35km	M: 3.9
		岩手県 1 釜石市只越町=0.5				
45	11 18 57	根室半島南東沖	42°59.2' N	146°53.5' E	54km	M: 4.2
		北海道 1 根室市弥栄=0.5				
46	11 20 01	長野県中部	36°10.3' N	137°53.8' E	9km	M: 3.3
		長野県 1 松本市丸の内*=1.4 長野市形村役場*=0.9 松本市沢村=0.7 堀金村烏川*=0.7 梓川村梓*=0.6 波田町役場*=0.5				
47	11 22 57	新島・神津島近海	34°14.0' N	139°15.8' E	12km	M: 3.4
		東京都 3 新島村式根島=3.1				
		2 神津島村役場*=2.1 神津島村金長=1.7 新島村本村*=1.6				
		1 新島村川原=1.1				
48	12 00 13	沖縄本島近海	26°20.5' N	127°50.2' E	21km	M: 3.5
		沖縄県 1 玉城村前川=1.1				
49	12 03 09	愛媛県南予地方	33°27.9' N	132°43.8' E	43km	M: 4.0
		愛媛県 1 別子山村役場*=0.9 久万町久万町*=0.8 三瓶町朝立*=0.7 明浜町高山*=0.7 内子町内子*=0.6 砥部町宮内*=0.5 愛媛三間町宮野下*=0.5				
50	12 09 49	種子島近海	30°26.0' N	130°59.9' E	35km	M: 4.1
		鹿児島県 1 鹿屋市新栄町=0.6 西之表市住吉=0.6				
51	12 12 32	種子島近海	30°26.0' N	131°01.0' E	35km	M: 4.5
		鹿児島県 2 南種子町中之上*=1.8 鹿屋市新栄町=1.6 大根占町城元*=1.5 根占町川北*=1.5 西之表市住吉=1.5 大浦町役場*=1.5				
		1 西之表市西之表=0.9 鹿児島田代町麓=0.8 鹿児島山川町新生町=0.7 志布志町志布志=0.5				
52	13 08 29	埼玉県北部	36°01.3' N	139°20.8' E	56km	M: 3.4
		栃木県 1 足利市名草上町=0.8				
54	13 22 21	広島県北部	34°55.1' N	132°42.1' E	8km	M: 2.4
		島根県 1 羽須美村下口羽*=0.5				
55	14 03 42	沖縄本島近海	26°17.8' N	127°08.6' E	58km	M: 3.8
		沖縄県 1 仲里村山城=0.7 仲里村謝名堂=0.6				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
56	14 10 16	安芸灘 山口県 1 山口東和町森*=0.5	34°02.2' N	132°42.8' E	44km	M: 2.5
57	14 13 35	茨城県北部 茨城県 1 水戸市金町=0.8 栃木県 1 烏山町中央=0.5	36°31.2' N	140°31.2' E	64km	M: 3.4
58	14 13 59	埼玉県北部 群馬県 1 粕川村西田面*=0.7 利根村道具*=0.7 赤城町西久保*=0.7 佐波郡東村東小保方*=0.7 吉岡町下野田*=0.6 宮城村鼻毛石*=0.5 黒保根村水沼*=0.5	36°05.4' N	139°41.2' E	88km	M: 3.5
59	14 20 26	岡山県北部 鳥取県 1 関金町大鳥居*=0.5	35°20.6' N	133°43.8' E	10km	M: 2.3
60	15 09 25	安芸灘 広島県 1 倉橋町役場*=0.7 豊栄町鍛冶屋*=0.7 広島大和町下徳良*=0.6 久井町和草*=0.5 音戸町鱒浜*=0.5 広島大崎町中野=0.5 愛媛県 1 菊間町浜*=0.8 吉海町八幡*=0.6 愛媛上浦町井口*=0.6	34°07.2' N	132°41.8' E	50km	M: 3.7
61	16 01 18	広島県南西部 広島県 2 川尻町西*=2.1 広島安佐北区可部南*=2.1 安浦町内海*=1.8 広島大和町下徳良*=1.8 広島河内町中河内=1.8 下蒲刈町下島*=1.7 本郷町本郷*=1.6 久井町和草*=1.6 広島大崎町中野=1.5 海田町上市*=1.5 坂町役場*=1.5 広島千代田町有田=1.5 1 広島西区己斐*=1.4 広島安芸区中野*=1.4 呉市広*=1.4 倉橋町鶯ヶ巣=1.4 倉橋町役場*=1.4 甲山町西上原*=1.3 甲田町高田原*=1.3 熊野町役場*=1.2 広島佐伯町津田*=1.2 広島豊浜町豊島*=1.2 木江町木江*=1.1 豊栄町鍛冶屋*=1.1 呉市焼山*=1.0 蒲刈町宮盛*=1.0 世羅西町小国*=1.0 広島福富町久芳*=1.0 大朝町大朝*=0.9 広島美土里町本郷*=0.9 沖美町三吉*=0.9 音戸町鱒浜*=0.8 呉市郷原町*=0.8 広島安佐南区緑井*=0.8 三原市円一町=0.7 広島吉田町吉田*=0.7 豊平町都志見=0.7 安芸津町三津*=0.7 高宮町佐々部*=0.7 黒瀬町丸山=0.7 広島高野町新市*=0.7 向島町役場*=0.7 広島南区宇品海岸*=0.7 東野町役場*=0.6 廿日市市下平良*=0.6 呉市宝町=0.5 御調町市*=0.5 広島八千代町佐々井*=0.5 上下町矢多田嶽山=0.5 愛媛県 1 吉海町八幡*=1.2 愛媛上浦町井口*=1.1 菊間町浜*=1.1 岩城村役場*=1.0 大三島町宮浦*=1.0 波方町樋口*=0.9 宮窪町宮窪*=0.7 生名村役場*=0.6 関前村岡村*=0.6 山口県 1 平生町平生*=1.3 大島町大島*=1.2 田布施町下田布施2*=1.0 玖珂町役場*=0.9 上関町長島*=0.8 山口東和町森*=0.8 岩国市今津=0.7 光市中央*=0.7 山口美和町生見*=0.6 久賀町久賀*=0.6 山口大島町小松*=0.6 橘町西安下庄*=0.5	34°16.5' N	132°36.6' E	46km	M: 4.2
62	16 11 18	島根県東部 島根県 1 仁多町三成*=0.7	35°04.8' N	133°04.5' E	10km	M: 3.2
66	16 20 04	千葉県東部沖 千葉県 1 大網白里町大網*=0.9 長柄町桜谷*=0.5	35°18.3' N	140°35.4' E	50km	M: 3.4
67	17 23 18	茨城県沖 福島県 1 棚倉町棚倉=0.9 川内村下川内=0.5 茨城県 1 内原町内原*=0.9 岩瀬町岩瀬*=0.9 北茨城市磯原町*=0.8 つくば市谷田部*=0.8 水戸市金町=0.7 友部町中央*=0.7 八郷町柿岡=0.6 高萩市本町*=0.5 栃木県 1 今市市瀬川=0.5 烏山町中央=0.5	36°43.8' N	141°30.5' E	40km	M: 4.4
68	18 00 54	島根県東部 島根県 1 仁多町三成*=1.2	35°04.8' N	133°04.6' E	10km	M: 3.4
69	18 03 58	栃木県北部 栃木県 3 塩原町下塩原*=2.7 2 塩原町暮沼=2.2 1 西那須野町あたご町*=1.3 黒磯市共壘社*=1.0 那須町寺子*=0.8 矢板市本町*=0.8 上河内町中里*=0.8 福島県 1 田島町田島=1.2 白河市郭内=0.5 棚倉町棚倉=0.5	36°59.2' N	139°50.5' E	10km	M: 3.7
70	18 07 54	岐阜県美濃中西部 岐阜県 1 武芸川町八幡*=0.6	35°32.0' N	136°51.1' E	11km	M: 2.9
71	19 00 35	長野県南部 長野県 2 三岳村役場*=1.9 日義村役場*=1.8 1 木曾福島町役場*=1.1 大桑村長野*=1.0 長野高森町下市田*=0.5 南木曾町読書*=0.5 岐阜県 2 加子母村役場*=2.0 下呂町森=1.6 岐阜川上村役場*=1.5 1 馬瀬村名丸*=1.1 岐阜福岡町福岡*=1.1 山岡町上手向*=1.0 坂下町坂下*=0.9 上矢作町役場*=0.9 恵那市長島町*=0.9 岐阜朝日村方石*=0.7 宮村役場*=0.5 八百津町八百津*=0.5 岐阜八幡町島谷=0.5 明宝村二間手*=0.5 愛知県 1 高浜市穉田町*=1.2 富山村下柄*=0.9 小原村大草*=0.9 愛知旭町小渡*=0.8 下山村東大沼*=0.8 新城市東入船*=0.7 足助町足助*=0.5 半田市東洋町*=0.5	35°48.8' N	137°26.8' E	11km	M: 3.8
72	21 12 08	根室半島南東沖 北海道 1 別海町常盤=0.9	43°10.8' N	145°50.4' E	52km	M: 4.3
73	21 12 53	茨城県南部 茨城県 2 茨城協和町門井*=2.0 茨城緒川村上小瀬*=1.5 岩瀬町岩瀬*=1.5	36°18.4' N	140°07.8' E	59km	M: 3.8

地震 番号	震源時 日 時 分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		1 岩間町下郷 *=1.3 笠間市石井 *=1.2 内原町内原 *=1.1 山方町山方 *=1.1 八郷町役場 *=1.0 茨城大和村羽田 *=0.9 友部町中央 *=0.8 八郷町柿岡=0.8 水戸市金町=0.8 関城町舟生=0.8 御前山村野口 *=0.7 美野里町堅倉 *=0.7 常陸太田市町屋町=0.6 つくば市谷田部 *=0.5 茨城小川町小川 *=0.5 美和町高部 *=0.5 土浦市下高津 *=0.5 2 足利市名草上町=1.5				
		1 栃木二宮町石島 *=1.2 茂木町茂木 *=1.2 栃木市旭町=1.1 上河内町中里 *=1.1 今市市瀬川=1.0 高根沢町石末 *=1.0 岩舟町静 *=0.9 馬頭町馬頭 *=0.9 日光市中鉢石町 *=0.8 日光市中宮祠=0.7 栃木藤岡町藤岡 *=0.6 真岡市荒町 *=0.6 益子町益子=0.6 足利市大正町 *=0.5				
74	21 14 25	三陸沖 北海道 青森県 岩手県	40°53.9' N	143°20.0' E	14km	M: 4.9
		1 苫小牧市しらかば=0.7 函館市美原=0.6 静内町ときわ=0.6 浦河町潮見=0.6 1 五戸町古館=1.4 名川町平 *=1.4 青森南郷村市野沢 *=1.1 福地村苔米地 *=1.0 天間林村森ノ上 *=0.9 倉石村中市 *=0.9 上北町中央南 *=0.9 六戸町犬落瀬 *=0.8 むつ市金曲=0.8 下田町中下田 *=0.8 百石町上明堂 *=0.6 柏村桑野木田 *=0.6 七戸町七戸 *=0.6 東通村砂子又 *=0.5 木造町若緑 *=0.5 1 二戸市福岡=1.0				
78	22 07 26	千葉県北東部 千葉県	35°27.7' N	140°24.6' E	34km	M: 3.3
		2 大網白里町大網 *=1.5 1 東金市東新宿=1.4 東金市東岩崎 *=1.2 白子町関 *=1.2 千葉一宮町一宮=1.1 九十九里町片貝 *=1.0 長柄町桜谷 *=1.0 長生村本郷 *=0.8 成東町殿台 *=0.7 勝浦市墨名=0.7 夷隅町国府台 *=0.7 長南町長南 *=0.6				
79	22 14 21	釧路沖 北海道	42°36.4' N	144°17.3' E	55km	M: 4.2
		2 釧路市幸町=1.6				
80	22 14 45	釧路沖 北海道	42°36.0' N	144°18.2' E	56km	M: 4.3
		1 釧路市幸町=1.4 厚岸町尾幌=0.5				
81	22 21 53	広島県南東部 広島県	34°34.7' N	133°22.3' E	21km	M: 2.9
		1 新市町新市 *=0.5				
82	22 21 54	広島県北部 島根県 広島県	34°55.1' N	132°42.3' E	9km	M: 3.3
		2 島根大和村都賀本郷 *=2.3 羽須美村下口羽 *=2.1 1 布野村上布野 *=1.1 作木村下作木 *=0.8 君田村東入君 *=0.7 広島安佐北区可部南 *=0.5				
83	23 07 02	千葉県北西部 栃木県	35°42.0' N	140°13.2' E	68km	M: 3.6
		1 今市市瀬川=0.8				
84	23 07 08	茨城県南部 茨城県	36°01.5' N	140°15.9' E	39km	M: 3.3
		1 茨城小川町小川 *=1.4 莖崎町小莖 *=1.3 霞ヶ浦町大和田 *=1.1 玉里村上玉里 *=1.0 八郷町柿岡=1.0 茨城千代田町上土田 *=1.0 美野里町堅倉 *=0.9 茨城新治村藤沢 *=0.9 岩間町下郷 *=0.8 八郷町役場 *=0.8 牛久市中央 *=0.8 鉾田町鉾田=0.8 美浦村受領 *=0.7 土浦市大岩田=0.7 土浦市下高津 *=0.7 つくば市谷田部 *=0.6 茨城町小堤 *=0.5 友部町中央 *=0.5 千葉県 1 成田市花崎町=0.8 千葉神崎町神崎本宿 *=0.6 沼南町大島田 *=0.5				
85	23 08 59	三重県中部 三重県	34°18.2' N	136°20.5' E	41km	M: 3.6
		2 紀伊長島町長島 *=1.6 1 海山町相賀 *=1.3 松阪市殿町 *=0.9 白山町川口 *=0.7 三重大宮町滝原 *=0.7 尾鷲市中央町 *=0.7 名張市鴻之台 *=0.7 大内山村役場 *=0.5				
86	23 09 22	茨城県南部 茨城県	36°01.3' N	140°16.0' E	38km	M: 2.9
		1 八郷町柿岡=0.7				
89	23 20 49	栃木県北部 栃木県	36°44.0' N	139°27.9' E	10km	M: 2.6
		2 日光市中宮祠=1.7				
90	24 02 50	栃木県北部 栃木県	36°44.6' N	139°27.6' E	10km	M: 2.2
		1 日光市中宮祠=0.5				
91	24 09 53	静岡県西部 岐阜県 静岡県 愛知県	34°50.5' N	137°28.9' E	36km	M: 3.6
		1 上矢作町役場 *=1.1 串原村役場 *=0.6 山岡町上手向 *=0.5 1 龍山村大嶺 *=0.9 1 新城市東入船 *=1.4 豊橋市向山=1.3 愛知郡明小渡 *=1.1 鳳来町乗本=1.0 幸田町菱池 *=0.9 足助町足助 *=0.8 下山村東大沼 *=0.6 豊根村下黒川 *=0.5				
93	24 13 22	茨城県南部 茨城県	35°53.4' N	140°08.8' E	74km	M: 4.2
		3 茨城協和町門井 *=2.6 2 莖崎町小莖 *=2.1 八郷町柿岡=2.0 総和町下大野 *=2.0 茨城三和町仁連 *=2.0 岩間町下郷 *=1.9 茨城千代田町上土田 *=1.9 猿島町山 *=1.9 茨城小川町小川 *=1.8 八郷町役場 *=1.8 土浦市下高津 *=1.8 つくば市谷田部 *=1.8 友部町中央 *=1.8 笠間市石井 *=1.7 茨城新治村藤沢 *=1.6 茨城伊奈町福田 *=1.6 明理町海老ヶ島 *=1.6 内原町内原 *=1.6 岩井市岩井=1.6 玉里村上玉里 *=1.6 関城町舟生=1.5 岩瀬町岩瀬 *=1.5 土浦市大岩田=1.5 江戸崎町江戸崎 *=1.5 茨城町小堤 *=1.5 下妻市本城町 *=1.5 1 美野里町堅倉 *=1.4 御前山村野口 *=1.4 水海道市諏訪町 *=1.4 岩井市役所 *=1.4 牛久市中央 *=1.4 谷和原村加藤 *=1.4 茨城大和村羽田 *=1.4 茨城八千代町菅谷 *=1.4 千代川村鬼怒 *=1.4 石下町新石下 *=1.4 利根町布川=1.4 美浦村受領 *=1.3 真壁町飯塚 *=1.3 霞ヶ浦町大和田 *=1.3 茨城河内町源清田 *=1.2 水戸市中央 *=1.2 藤代町藤代 *=1.2 桂村阿波山 *=1.1 常北町石塚 *=1.1 五霞町小福田 *=1.1 守谷町大柏 *=1.1 玉造町甲 *=1.0 古河市長谷町 *=1.0 水戸市金町=1.0 茨城緒川村上小瀬 *=0.9 茨城鹿嶋市鉢形=0.9 茨城東町結佐 *=0.9 鉾田町鉾田=0.9 山方町山方 *=0.9				

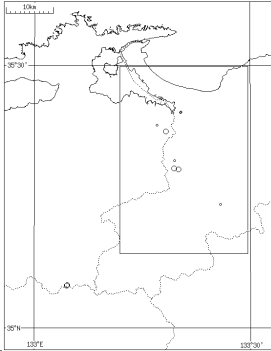
地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		茨城旭村造谷*=0.8 麻生町麻生*=0.8 大洋村汲上*=0.7 桜川村須賀津*=0.6 常陸太田市町屋町=0.5 美和村高部*=0.5 栃木県 2 今市市瀬川=2.4 栃木市旭町=2.3 栃木二宮町石島*=2.1 上河内町中里*=1.6 粟野町口栗野*=1.6 茂木町茂木*=1.5 足利市大正町*=1.5 1 佐野市高砂町*=1.4 壬生町通町*=1.4 日光市中鉢石町*=1.3 石橋町石橋*=1.3 大平町富田*=1.3 岩舟町静*=1.3 市貝町市境*=1.2 日光市中宮祠=1.2 栃木国分寺町小金井*=1.2 鹿沼市今宮町*=1.2 足尾町松原*=1.1 栗山村日蔭*=1.1 栃木市入舟町*=1.1 都賀町家中*=1.1 小山市中央町*=1.1 栃木河内町白沢*=1.1 西方町本城*=1.1 益子町益子=1.1 真岡市荒町*=1.0 南河内町田中*=1.0 足利市名草上町=1.0 高根沢町石末*=1.0 葛生町中央*=1.0 野木町丸林*=0.9 栃木藤岡町藤岡*=0.9 今市市本町*=0.9 烏山町中央=0.8 塩谷町玉生*=0.8 芳賀町祖母井*=0.7 湯津上村佐良土*=0.6 宇都宮市明保野町=0.6 栃木藤原町藤原*=0.6 宇都宮市旭*=0.5 群馬県 2 大泉町日の出*=1.9 邑楽町中野*=1.8 1 粕川村西田面*=1.2 利根村道具*=1.2 宮城村鼻毛石*=1.1 赤城町西久保*=1.0 群馬千代田町赤岩*=1.0 黒保根村水沼*=0.9 子持村吹屋*=0.9 尾島町粕川*=0.9 富士見村田島*=0.8 群馬板倉町板倉=0.8 大間々町大間々*=0.7 太田市浜町*=0.7 片品村東小川=0.7 群馬新里村武井*=0.7 勢多郡東村花輪*=0.6 佐波郡東村東小保方*=0.5 藪塚本町大原*=0.5 桐生市織姫町=0.5 埼玉県 2 久喜市下早見=1.8 吉川市吉川*=1.5 宮代町中央*=1.5 1 杉戸町清地*=1.4 さいたま市高砂=1.3 越谷市越ヶ谷*=1.2 白岡町千駄野*=1.2 北川辺町麦倉*=1.1 行田市本丸*=1.0 戸田市上戸田*=1.0 さいたま市下落合*=0.9 鳩ヶ谷市三ツ和*=0.8 さいたま市常盤*=0.7 加須市下三保*=0.6 妻沼町弥藤吾*=0.6 熊谷市桜町=0.6 北本市本町*=0.5 東京都 2 東京千代田区大手町=1.5 東京江戸川区船堀*=1.5 1 東京荒川区東尾久*=1.4 東京江戸川区中央=1.4 武蔵野市吉祥寺東町*=1.4 東京文京区本郷*=1.3 東京江東区森下*=1.2 東京江東区枝川*=1.2 東京大田区本羽田*=1.2 東京練馬区東大泉*=1.2 東京足立区伊興*=1.2 東京足立区神明南*=1.2 東京墨田区東向島*=1.1 東京江東区東陽*=1.1 東京品川区北品川*=1.1 東京杉並区高井戸*=1.1 東京北区赤羽南*=1.1 東京江戸川区鹿骨*=1.1 調布市つじヶ丘*=1.1 東京荒川区荒川*=1.0 東京練馬区光が丘*=1.0 東京足立区千住*=1.0 三鷹市野崎*=1.0 町田市中町*=1.0 東京港区南青山*=0.9 東京新宿区百人町*=0.9 東京台東区千束*=0.9 東京江東区亀戸*=0.9 東京品川区平塚*=0.9 東京千代田区麹町*=0.8 東京墨田区吾妻橋*=0.8 東京中央区築地*=0.7 東京中央区日本橋兜町*=0.7 東京大田区多摩川*=0.7 立川市錦町*=0.7 東京中野区江古田*=0.7 国分寺市本多*=0.7 東京大田区大森東*=0.6 東京台東区東上野*=0.6 東京世田谷区成城*=0.6 青梅市日向和田*=0.6 東京目黒区中央町*=0.5 東京世田谷区世田谷*=0.5 東京世田谷区二軒茶屋*=0.5 東京世田谷区中町*=0.5 あきる野市伊奈*=0.5 神奈川県 2 横浜神奈川区神大寺*=1.5 横浜緑区十日市場*=1.5 1 横浜青葉区市が尾町*=1.4 横浜港北区日吉本町*=1.3 横浜緑区白山町*=1.2 横浜鶴見区下末吉*=1.1 横浜神奈川区白幡上町*=1.1 横浜保土ヶ谷区上菅田町*=1.1 川崎宮前区宮前平*=1.1 横浜中区山下町*=1.0 横浜都筑区茅ヶ崎*=1.0 川崎中原区小杉町*=1.0 横浜中区山手町=0.9 横浜港南区丸山台東部*=0.9 横浜旭区今宿東町*=0.9 川崎中原区小杉陣屋=0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎=0.5 千葉県 1 成田市花崎町=1.4 印西市大森*=1.4 八千代市大和田新田*=1.1 白井市復*=1.1 野田市鶴奉*=1.1 佐原市佐原=1.0 佐倉市海隣寺町*=1.0 流山市平和台*=1.0 我孫子市我孫子*=1.0 沼南町大島田*=1.0 千葉栄町安食台*=1.0 佐原市役所*=0.9 習志野市鷺沼*=0.9 印旛村瀬戸*=0.9 松戸市根本*=0.8 関宿町東宝珠花*=0.8 成田市役所*=0.7 芝山町小池*=0.6 千葉大栄町松子*=0.5 多古町多古=0.5 千葉中央区中央港=0.5 山梨県 1 塩山市役所*=0.9 勝沼町勝沼*=0.5 静岡県 1 熱海市網代=1.2 94 24 20 41 長野県南部 長野県 2 三岳村役場*=1.6 95 24 20 55 長野県南部 長野県 1 三岳村役場*=0.9 96 25 00 22 長野県南部 長野県 1 三岳村役場*=0.5 98 25 08 39 青森県東方沖 青森県 2 名川町平*=1.9 五戸町古館=1.6 階上町道仏*=1.5 1 福地村苔米地*=1.4 青森南郷村市野沢*=1.4 東北町塔ノ沢山*=1.0 下田町中下田*=1.0 八戸市湊町=1.0 十和田湖町奥瀬*=1.0 倉石村中市*=1.0 上北町中央南*=1.0 天間林村森ノ上*=0.9 百石町上明堂*=0.8 むつ市金曲=0.8 東通村砂子又*=0.8 六戸町大落瀬*=0.8 田子町田子*=0.7 七戸町七戸*=0.7 青森南郷村島守=0.7 六ヶ所村尾駈=0.5 岩手県 2 二戸市福岡=1.5 1 種市町大町=1.1 葛巻町葛巻=0.8 盛岡市山王町=0.7 西根町大更=0.7 99 25 09 40 択捉島付近 北海道 2 静内町ときわ=2.4 別海町常盤=2.2 釧路市幸町=2.1 浦河町潮見=2.0 十勝清水町南4条=2.0 斜里町本町=1.9 弟子屈町美里=1.8 白老町大町=1.7 帯広市東4条=1.6 厚岸町尾幌=1.5 羅臼町春日=1.5 本別町北2丁目=1.5 根室市弥栄=1.5 1 石狩市花川=1.4 函館市美原=1.4 苫小牧市しらかほ=1.4 忠類村明和=1.4 南茅部町尾礼部=1.3 音別町尺別=1.2 足寄町上螺湾=1.2 広尾町並木通=1.2 中標津町養老牛=1.1 美幌町東3条=1.1 七飯町桜町=1.1 倶知安町南1条=1.1 伊達市梅本=1.0 檜山江差町姥神=0.8 青森県 2 むつ市金曲=1.8 平館村根岸*=1.7 天間林村森ノ上*=1.7 東通村砂子又*=1.7 下田町中下田*=1.5 1 稲垣村沼崎*=1.4 浪岡町浪岡*=1.4 尾上町猿賀*=1.4 常盤村水木*=1.4 六戸町大落瀬*=1.4 上北町中央南*=1.4 青森市花園=1.3 青森南郷村市野沢*=1.3 七戸町七戸*=1.2 市浦村太田=1.1 五戸町古館=1.1 黒石市市ノ町*=1.1 藤崎町西豊田*=1.1 青森鶴岡町鶴岡*=1.0 名川町平*=1.0				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
101	25 15 55	<p>木造町若緑 * =1.0 車力村車力 * =0.9 柏村桑野木田 * =0.9 東北町塔ノ沢山 * =0.9 三厩村本町 * =0.9 金木町金木 * =0.8 倉村中市 * =0.7 福地村苔米地 * =0.7 風間浦村界国間 * =0.6 青森平賀町柏木町 * =0.5 1 二戸市福岡=1.2 盛岡市山王町=0.6 岩手県 宮城県 秋田県 1 中田町宝江黒沼=1.0 1 西目町沼田 * =0.9</p> <p>千葉県北東部 35° 44.9' N 140° 41.6' E 50km M: 4.8 千葉県 3 光町宮川 * =3.1 多古町多古=2.8 松尾町松尾 * =2.7 成田市花崎町=2.7 干潟町南堀之内 * =2.6 蓮沼村八 * =2.6 佐原市佐原=2.5 横芝町横芝 * =2.5 佐原市役所 * =2.5 2 八日市場市八 * =2.4 小見川町羽根川 * =2.4 野栄町今泉 * =2.4 成東町殿台 * =2.4 芝山町小池 * =2.3 東庄町笹川 * =2.2 海上町高生 * =2.2 旭市二 * =2.2 銚子市川口町=2.2 飯岡町萩園 * =2.1 東金市東新宿=2.1 東金市東岩崎 * =2.1 千葉大栄町松子 * =2.1 佐倉市海隣寺町 * =2.1 九十九里町片貝 * =2.0 成田市役所 * =2.0 千葉神崎町神崎本宿 * =1.9 八街市八街 * =1.8 富里町七栄 * =1.8 大網白里町大網 * =1.7 栗源町岩部 * =1.7 四街道市鹿渡 * =1.7 千葉酒々井町中央 * =1.7 印旛村瀬戸 * =1.7 本埜村笠神 * =1.7 睦沢町下之郷 * =1.6 白子町関 * =1.6 1 千葉一宮町一宮=1.4 印西市大森 * =1.4 夷隅町国府台 * =1.4 長生村本郷 * =1.3 千葉中央区中央港=1.3 千葉栄町安食台 * =1.3 長柄町桜谷 * =1.2 長柄町大津倉=1.1 長南町長南 * =1.1 柏市旭町=1.1 市原市国分寺中央 * =1.1 八千代市大和田新田 * =1.1 我孫子市我孫子 * =1.1 白井市復 * =1.1 大多喜町大多喜 * =1.1 下総町猿山 * =1.1 勝浦市墨名=0.9 館山市長須賀=0.8 沼南町大島田 * =0.8 茨城県 2 神栖町溝口 * =2.4 潮来市辻 * =2.3 茨城東町結佐 * =2.2 玉里村上玉里 * =2.0 新利根町柴崎 * =2.0 波崎町役場 * =2.0 桜川村須賀津 * =1.9 麻生町麻生 * =1.8 江戸崎町江戸崎 * =1.7 日立市助川町 * =1.7 茨城河内町源清田 * =1.7 常陸太田市金井町 * =1.7 茨城小川町小川 * =1.7 那珂町福田 * =1.7 土浦市下高津 * =1.6 茨城旭村造谷 * =1.6 水戸市金町=1.6 水戸市中央 * =1.6 八郷町柿岡=1.6 茨城新治村藤沢 * =1.5 谷和原村加藤 * =1.5 友部町中央 * =1.5 美浦村受領 * =1.5 東海村舟石川 * =1.5 茨城町小堤 * =1.5 1 美野里町堅倉 * =1.4 金砂郷町高柿 * =1.4 つくば市谷田部 * =1.4 鉾田町鉾田=1.4 北浦町山田 * =1.4 八郷町役場 * =1.4 茨城千代田町上土田 * =1.4 真壁町飯塚 * =1.4 藤代町藤代 * =1.4 十王町友部 * =1.3 土浦市大岩田=1.3 関城町舟生=1.3 内原町内原 * =1.3 茨城協和町門井 * =1.3 瓜連町瓜連 * =1.3 利根町布川=1.3 笠間市石井 * =1.3 阿見町中央 * =1.3 霞ヶ浦町大和田 * =1.3 笠崎町小笠 * =1.2 岩瀬町岩瀬 * =1.2 水海道市諏訪町 * =1.2 玉造町甲 * =1.2 茨城伊奈町福田 * =1.2 ひたちなか市東石川 * =1.2 岩間町下郷 * =1.1 桂村阿波山 * =1.1 守谷町大柏 * =1.1 御前山村野口 * =1.1 常北町石塚 * =1.0 岩井市岩井=1.0 牛久中央 * =1.0 山方町山方 * =1.0 茨城大宮町常陸大宮=0.8 茨城大和村羽田 * =0.8 常陸太田市町屋町=0.5 栃木県 2 高根沢町石末 * =1.6 1 栃木二宮町石島 * =1.3 市貝町市塙 * =1.3 烏山町中央=1.2 真岡市荒町 * =1.1 益子町益子=0.9 今市市瀬川=0.9 福島県 1 郡山市朝日=1.0 棚倉町棚倉=0.6 いわき市小名浜=0.6 白河市郭内=0.5 埼玉県 1 吉川市吉川 * =1.1 鳩ヶ谷市三ツ和 * =0.9 久喜市下早見=0.8 さいたま市下落合 * =0.7 白岡町千駄野 * =0.6 越谷市越ヶ谷 * =0.5 東京都 1 東京荒川区荒川 * =1.0 東京江戸川区中央=1.0 東京江東区東陽 * =0.7 神奈川県 1 横浜神奈川区神大寺 * =1.0 横浜中区山手町=0.9 小田原市荻窪=0.8 静岡県 1 函南町仁田 * =0.5</p>				
102	26 06 51	<p>秋田県沖 秋田県 1 秋田本荘市石脇=0.6 39° 25.5' N 139° 54.4' E 19km M: 3.1</p>				
105	26 15 27	<p>紀伊水道 和歌山県 1 和歌山川辺町土生 * =0.7 33° 51.2' N 134° 54.2' E 26km M: 2.9</p>				
106	27 03 01	<p>茨城県沖 福島県 茨城県 1 棚倉町棚倉=0.6 白河市郭内=0.5 1 常北町石塚 * =1.1 水戸市金町=1.0 那珂町福田 * =1.0 高萩市本町 * =0.6 東海村舟石川 * =0.5 茨城鹿嶋市鉢形=0.5 36° 12.4' N 140° 55.6' E 41km M: 3.9</p>				
109	27 10 18	<p>安芸灘 広島県 2 川尻町西 * =1.8 倉橋町役場 * =1.7 1 沖美町三吉 * =1.4 能美町中町 * =1.1 広島安佐南区緑井 * =1.1 呉市広 * =1.0 下蒲刈町下島 * =1.0 音戸町鯉浜 * =0.9 倉橋町鷹ヶ巣=0.9 江田島町役場 * =0.8 久井町和草 * =0.8 広島大崎町中野=0.7 蒲刈町宮盛 * =0.7 広島安芸区中野 * =0.7 呉市宝町=0.6 広島西区己斐 * =0.6 黒瀬町丸山=0.5 山口県 2 上関町長島 * =1.7 1 光市中央 * =1.4 橋町西安下庄 * =1.2 平生町平生 * =1.0 久賀町久賀 * =0.9 山口東和町森 * =0.9 周東町下久原 * =0.9 大島町大島 * =0.9 田布施町下田布施 2 * =0.8 山口大和町岩田 * =0.7 山口大島町小松 * =0.7 玖珂町役場 * =0.6 山口錦町広瀬 * =0.5 愛媛県 1 久万町久万町 * =1.2 菊間町兵 * =1.2 丹原町鞍瀬丁=0.8 吉海町八幡 * =0.7 中山町出洲 * =0.7 松野町松丸 * =0.6 愛媛中島町大浦 * =0.6 松山市北侍町=0.5 小田町町村 * =0.5 33° 55.3' N 132° 18.6' E 55km M: 4.0</p>				
110	28 04 06	<p>栃木県北部 栃木県 1 日光市中宮祠=1.0 36° 43.9' N 139° 27.9' E 10km M: 2.3</p>				
111	28 06 36	<p>栃木県北部 栃木県 1 日光市中宮祠=0.7 36° 43.9' N 139° 27.9' E 10km M: 2.1</p>				
113	29 22 38	<p>和歌山県北部 和歌山県 1 熊野川町日足 * =0.7 33° 57.6' N 135° 37.0' E 13km M: 3.1</p>				
114	29 22 39	<p>和歌山県北部 奈良県 和歌山県 2 下北山村寺垣内 * =2.0 1 熊野川町日足 * =1.4 新宮市新宮=0.8 33° 57.6' N 135° 37.0' E 14km M: 3.6</p>				

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
115	30 08 07	広島県北部 島根県 広島県	34°55.3' N	132°42.3' E	10km	M: 3.1
116	30 09 20	広島県北部 島根県	34°55.4' N	132°42.3' E	9km	M: 2.7
118	30 21 35	富山県西部 石川県	36°47.5' N	136°51.2' E	12km	M: 2.9
119	31 01 52	静岡県中部 岐阜県 静岡県	34°58.5' N	138°07.2' E	32km	M: 4.1
120	31 05 09	茨城県南部 茨城県 栃木県 埼玉県 千葉県	36°00.7' N	140°24.6' E	58km	M: 4.0
121	31 08 59	茨城県南部 栃木県 茨城県	36°11.0' N	139°48.8' E	55km	M: 4.5

地震番号	震源時 日時分	震央地名 各地の震度(計測震度)	緯度	経度	深さ	規模
		2 群馬千代田町赤岩 * = 2.4 群馬板倉町板倉 = 2.3 邑楽町中野 * = 2.3 太田市浜町 * = 2.1 群馬明和町新里 * = 2.1 粕川村西田面 * = 2.0 群馬新里村武井 * = 2.0 赤堀町西久保 * = 2.0 佐波郡東村東小保方 * = 2.0 川場村谷地 * = 1.9 館林市城町 * = 1.9 黒保根村水沼 * = 1.9 大胡町堀越 * = 1.8 利根村追貝 * = 1.8 戴塚本町大原 * = 1.8 桐生市織姫町 = 1.8 笠懸町鹿 * = 1.7 大間々町大間々 * = 1.7 富士見村田島 * = 1.7 沼田市西倉内町 = 1.7 片品村東小川 = 1.7 北橋村真壁 * = 1.6 群馬境町境 * = 1.6 新田町金井 * = 1.6 伊勢崎市今泉町 * = 1.6 子持村吹屋 * = 1.6 群馬吾妻町原町 = 1.6 赤城村敷島 * = 1.5 1 前橋市大手町 * = 1.4 群馬白沢村高平 * = 1.4 尾島町粕川 * = 1.4 吾妻郡東村奥田 * = 1.3 伊香保町伊香保 * = 1.2 群馬吉井町吉井 * = 1.2 吉岡町下野田 * = 1.1 鬼石町鬼石 * = 1.1 倉沢村三ノ倉 * = 1.0 群馬町足門 * = 1.0 群馬昭和村糸井 * = 0.9 玉村町下新田 * = 0.9 富岡市七日市 = 0.9 小野上村村上 * = 0.9 安中市安中 * = 0.9 榛東村山子田 * = 0.9 高崎市高松町 * = 0.8 六合村日影 = 0.8 群馬上野村川和 * = 0.7 甘楽町小幡 * = 0.7 群馬中里村神ヶ原 * = 0.6 榛名町下室田 * = 0.6 前橋市昭和町 = 0.5 埼玉県 3 久喜市下早見 = 3.1 大里根町北下新井 * = 3.0 江南町中央 * = 2.9 東松山市松葉町 * = 2.7 北川辺町麦倉 * = 2.6 加須市下三保 * = 2.5 滑川町福田 * = 2.5 2 埼玉大里村中曾根 * = 2.4 鷲宮町鷲宮 * = 2.4 埼玉川本町田中 * = 2.3 騎西町騎西 * = 2.3 南河原村南河原 * = 2.3 宮代町中央 * = 2.3 行田市本丸 * = 2.2 羽生市東 * = 2.2 菫蒲町新堀 * = 2.2 栗橋町間鎌 * = 2.2 埼玉吹上町富士見 * = 2.1 妻沼町弥藤吾 * = 2.1 鴻巣市中央 * = 2.0 川里町広田 * = 2.0 上尾市本町 * = 2.0 桶川市泉 * = 2.0 幸手市東 * = 2.0 埼玉美里町木部 * = 1.9 庄和町金崎 * = 1.9 北本市本町 * = 1.8 白岡町千駄野 * = 1.8 都幾川村桃木 * = 1.8 蓮田市黒浜 * = 1.7 埼玉川島町平沼 * = 1.7 杉戸町清地 * = 1.7 熊谷市桜町 = 1.7 川口市青木 * = 1.6 嵐山町杉山 * = 1.6 草加市高砂 * = 1.5 長瀬町本野上 * = 1.5 三郷市幸房 * = 1.5 東秩父村御堂 * = 1.5 児玉町八幡 = 1.5 1 花園町小前田 * = 1.4 さいたま市高砂 = 1.4 さいたま市下落合 * = 1.4 深谷市仲町 * = 1.3 寄居町寄居 * = 1.3 戸田市上戸田 * = 1.3 吉川市吉川 * = 1.3 毛呂山町岩井 * = 1.2 秩父市上町 = 1.2 吉見町下細谷 * = 1.2 神川町植竹 * = 1.2 川越市旭町 = 1.2 越生町越生 * = 1.1 鳩ヶ谷市三ツ谷 * = 1.1 鳩山町大豆戸 = 1.0 横瀬町横瀬 * = 1.0 富士見市鶴馬 * = 0.9 朝霞市本町 * = 0.9 越谷市越ヶ谷 * = 0.8 三芳町藤久保 * = 0.7 さいたま市常盤 * = 0.7 日高市南平沢 * = 0.6 埼玉大井町亀久保 * = 0.6 千葉県 3 成田市花崎町 = 2.5 2 佐原市佐原 = 2.3 印西市大森 * = 2.0 柏市旭町 = 1.9 佐原市役所 * = 1.8 野田市鶴奉 * = 1.8 佐倉市海隣寺町 * = 1.8 印旛村瀬戸 * = 1.8 千葉神崎町神崎本宿 * = 1.7 千葉大栄町松子 * = 1.7 芝山町小池 * = 1.7 成田市役所 * = 1.7 沼南町大島田 * = 1.7 小見川町羽根川 * = 1.6 栗原町岩部 * = 1.6 千葉栄町安食台 * = 1.6 鎌ヶ谷市初富 * = 1.5 四街道市鹿渡 * = 1.5 白井市復 * = 1.5 1 千漣町南堀之内 * = 1.4 我孫子市我孫子 * = 1.4 関宿町東宝珠花 * = 1.4 本埜村笠神 * = 1.4 千葉酒々井町中央 * = 1.3 富里町七栄 * = 1.3 多古町多古 = 1.3 習志野市鷺沼 * = 1.3 流山市平和台 * = 1.3 八千代市大和田新田 * = 1.2 大多喜町大多喜 * = 1.2 三芳村谷向 * = 1.2 八街市八街 * = 1.1 松戸市根本 * = 1.0 柏市柏 * = 1.0 東金市東新宿 = 1.0 東金市東岩崎 * = 1.0 八日市場市八 * = 1.0 船橋市湊町 * = 1.0 下総町猿山 * = 0.9 長柄町桜谷 * = 0.9 千葉中央区中央港 = 0.9 東庄町笹川 * = 0.8 富津市下飯野 * = 0.8 海上町高生 * = 0.8 飯岡町秋園 * = 0.8 旭市二 * = 0.8 横芝町横芝 * = 0.7 富浦町青木 * = 0.7 光町宮川 * = 0.7 成東町殿台 * = 0.7 蓮沼村八 * = 0.6 館山市長須賀 = 0.6 松尾町松尾 * = 0.6 長生村本郷 * = 0.5 野栄町今泉 * = 0.5 福島県 2 棚倉町棚倉 = 1.8 いわき市小名浜 = 1.7 1 船引町船引 = 1.4 白河市郭内 = 1.3 浪江町幾世橋 = 1.3 郡山市朝日 = 1.1 田島町田島 = 0.9 大玉村曲藤 = 0.8 猪苗代町城南 = 0.7 福島市松木町 = 0.6 川内村下川内 = 0.6 東京都 2 東京千代田区大手町 = 1.9 東京江戸川区中央 = 1.6 東京文京区大塚 * = 1.5 調布市つつじヶ丘 * = 1.5 1 東京杉並区高井戸 * = 1.4 東京荒川区東尾久 * = 1.4 東京足立区伊興 * = 1.4 東京足立区神明南 * = 1.4 東京江戸川区鹿骨 * = 1.4 三鷹市野崎 * = 1.4 東京江東区枝川 * = 1.3 武蔵野市吉祥寺東町 * = 1.3 町田市中町 * = 1.3 青梅市東青梅 = 1.3 東京江東区森下 * = 1.2 東京品川区平塚 * = 1.2 東京大田区本羽田 * = 1.2 東京板橋区相生町 * = 1.2 東京江戸川区船堀 * = 1.2 青梅市日向和田 * = 1.2 東京文京区本郷 * = 1.2 東京中野区江古田 * = 1.1 稲城市東長沼 * = 1.1 東京北区赤羽南 * = 1.1 東京荒川区荒川 * = 1.1 東京江東区東陽 * = 1.1 東京品川区北品川 * = 1.1 東京世田谷区成城 * = 1.1 東京台東区東上野 * = 1.0 東京墨田区東向島 * = 1.0 東京府中市白糸台 * = 1.0 東京中央区築地 * = 1.0 東京練馬区東大泉 * = 1.0 東京足立区千住 * = 1.0 東京中央区勝どき * = 1.0 東京港区南青山 * = 1.0 東京新宿区百人町 * = 1.0 東京台東区千束 * = 0.9 東京大田区多摩川 * = 0.9 東京千代田区麹町 * = 0.9 国分寺市本多 * = 0.9 東京港区白金 * = 0.9 あきる野市伊奈 * = 0.9 東京練馬区光が丘 * = 0.8 東京足立区中央本町 * = 0.8 東京世田谷区世田谷 * = 0.8 東京墨田区吾妻橋 * = 0.8 町田市役所 * = 0.8 東京江東区亀戸 * = 0.8 伊豆大島町差木地 = 0.7 東京世田谷区三軒茶屋 * = 0.7 東京世田谷区中町 * = 0.7 東京中央区日本橋兜町 * = 0.7 立川市錦町 * = 0.7 東京品川区広町 * = 0.7 東京板橋区板橋 * = 0.7 多摩市関戸 * = 0.7 東京大田区大森東 * = 0.5 八王子市大横町 = 0.5 西東京市南町 * = 0.5 神奈川県 2 横浜鶴見区下末吉 * = 1.5 横浜神奈川区神大寺 * = 1.5 横浜港北区日吉本町 * = 1.5 1 横浜中区山手町 = 1.4 横浜緑区十日市場 * = 1.4 横浜青葉区市が尾町 * = 1.4 川崎宮前区宮前平 * = 1.4 横浜緑区白山町 * = 1.3 川崎中原区小杉町 * = 1.3 横浜中区山下町 * = 1.2 横浜保土ヶ谷区上菅田町 * = 1.2 横浜都筑区茅ヶ崎 * = 1.2 横浜西区浜松町 * = 1.1 横浜港南区丸山台東部 * = 1.1 横浜瀬谷区三ツ橋 * = 1.1 横浜青葉区榎が丘 * = 1.1 川崎幸区戸手本町 * = 1.1 横浜南区別所 * = 1.0 横浜磯子区洋光台 * = 1.0 横浜旭区上白根町 * = 1.0 川崎中原区小杉陣屋 = 1.0 相模原市中央 = 1.0 横浜磯子区磯子 * = 0.9 横浜旭区今宿東町 * = 0.9 横浜都筑区池辺町 * = 0.9 川崎多摩区登戸 * = 0.9 小田原市荻窪 = 0.9 横浜神奈川区白幡上町 * = 0.9 横須賀市武 = 0.6 茅ヶ崎市茅ヶ崎 = 0.5 新潟県 1 六日町伊勢町 = 1.0 山梨県 1 上野原町役場 * = 1.0 上野原町上野原 = 0.6 長野県 1 長野南牧村海ノ口 * = 0.8 静岡県 1 熱海市網代 = 0.8 122 31 10 02 岩手県沖 岩手県 39° 05.4 ' N 142° 08.2 ' E 49km M: 3.7 1 大船渡市大船渡町 = 0.6 124 31 23 57 福島県沖 福島県 37° 01.3 ' N 141° 35.1 ' E 42km M: 4.4 1 浪江町幾世橋 = 1.0				

付表 1 - 1 震度 1 以上が観測された平成 12 年(2000 年)鳥取県西部地震の余震の表 (2001 年 5 月)



地震の震源要素及び震度は再調査された後、修正されることがある。確定された震源要素は「地震・火山月報（カタログ編）」、震度データは「地震年報」を参照。(注)を付した地震については、近接した地域でほぼ同時刻に発生したため震度の分離はできない。*のついている地点は地方公共団体の観測点を示す。

本表では、震度観測点の記述を鳥取日野町根雨 日野町、境港市東本町 東本町、西伯町法勝寺 西伯町、会見町天方 会見町、溝口町溝口 溝口町、米子市博労町 米子市、岸本町吉長 岸本町、淀江町西原 淀江町、日吉津村日吉津 日吉津村とした。

番号	震源時分	北緯	東経	深さ	規模	各地の震度
5月1日						
1	10 00 35	19.0°	133° 19.5'	12M2.8		鳥取県 1 会見町* 西伯町*
5月10日						
2	12 16 35	23.1°	133° 17.0'	13M2.9		鳥取県 1 米子市 西伯町*
5月11日						
3	05 16 35	24.5°	133° 20.3'	10M-.-		鳥取県 1 米子市
4	05 52 35	24.6°	133° 20.4'	10M1.7		鳥取県 1 米子市
5	16 46 35	24.6°	133° 20.3'	10M1.7		鳥取県 1 米子市
5月23日						
6	10 08 35	18.1°	133° 20.0'	14M3.0		鳥取県 1 溝口町*
5月25日						
7	10 05 35	18.1°	133° 19.4'	10M3.1		鳥取県 1 西伯町*
5月27日						
8	03 48 35	22.4°	133° 18.2'	11M3.0		鳥取県 1 米子市 西伯町* 岸本町*
5月29日						
9	10 58 35	14.0°	133° 25.8'	8M2.3		鳥取県 1 日野町*

付表1-2 三宅島近海及び新島・神津島近海を震源とする震度1以上を観測した地震の表

地震の震源要素及び震度は再調査された後、修正されることがある。確定された震源要素は「地震・火山月報(カタログ編)」、震度データは「地震年報」を参照。(注)を付した地震については、同一地点でほぼ同時に発生したため震度の分離はできない。*のついている地点は地方公共団体の観測点を示す。

本表では、震度観測点の記述を三宅村阿古2 阿古2、三宅村神着 神着、三宅村坪田 坪田、神津島金長 金長、神津島村役場 神津役場、新島村式根島 式根島、新島村本村 新島本村、新島村川原 新島川原、伊豆大島町差木地 大島差木地、伊豆大島町元町 大島元町、八丈町大賀郷 八丈大賀郷、八丈町三根 八丈三根とした。
三宅村阿古2、三宅村坪田、三宅村神着の震度計は2000年9月3日以降、運用されていない時期がある。

番号 震源時分 北緯 東経 深さ 規模 各地の震度	番号 震源時分 北緯 東経 深さ 規模 各地の震度		
5月1日 1 18 56 34° 14.8' 139° 14.8' 9 M2.6 東京都 1 式根島 2 22 01 34° 15.3' 139° 15.7' 7 M4.2 東京都 3 式根島 新島本村* 金長 神津役場* 2 新島村川原 利島村 神着 1 伊豆大島町差木地 千葉県 1 館山市長須賀 神奈川県 1 横浜中区山手町 3 22 15 34° 14.2' 139° 14.8' 12 M2.6 東京都 1 式根島 神津役場* 4 23 24 34° 13.7' 139° 12.7' 12 M2.5 東京都 1 式根島	5月26日 26 10 57 34° 12.0' 139° 15.3' 14 M2.7 東京都 1 式根島 金長 神津役場* 27 13 22 34° 03.3' 139° 21.6' 16 M3.2 東京都 1 神着 5月27日 28 07 23 34° 06.3' 139° 31.6' 0 M2.4 東京都 1 神着 坪田 5月30日 29 11 34 34° 05.8' 139° 32.7' 1 M2.1 東京都 1 神着 5月31日 30 22 08 34° 05.8' 139° 31.5' 2 M2.5 東京都 2 神着 坪田		
5月2日 5 07 21 34° 16.0' 139° 12.0' 8 M2.4 東京都 1 式根島			
5月6日 6 23 06 34° 27.3' 139° 12.3' 12 M2.5 東京都 1 式根島 利島村			
5月7日 7 02 18 34° 05.0' 139° 32.6' 13 M2.8 東京都 3 神着 2 坪田 8 04 42 34° 07.6' 139° 18.0' 17 M3.3 東京都 1 金長 神着 神津役場* 式根島 9 08 21 34° 16.5' 139° 14.0' 10 M2.3 東京都 1 式根島 10 19 41 34° 10.5' 139° 16.0' 15 M2.8 東京都 1 式根島 金長 神津役場*			
5月8日 11 01 34 34° 14.8' 139° 13.1' 3 M2.3 東京都 1 式根島 神津役場* 金長 12 15 22 34° 15.7' 139° 17.2' 0 M2.4 東京都 1 式根島			
5月9日 13 07 58 34° 19.1' 139° 12.7' 3 M2.0 東京都 1 式根島			
5月11日 14 12 36 34° 14.1' 139° 14.3' 13 M2.8 東京都 1 式根島 神津役場* 金長 15 22 57 34° 14.0' 139° 15.8' 12 M3.4 東京都 3 式根島 2 神津役場* 金長 新島本村* 1 新島村川原			
5月13日 16 15 07 34° 05.4' 139° 29.5' 0 M2.1 東京都 1 神着			
5月16日 17 14 20 34° 10.0' 139° 18.6' 15 M3.3 東京都 2 式根島 金長 神津役場* 1 神着 新島本村* 新島村川原 18 18 39 34° 17.0' 139° 12.6' 6 M2.0 東京都 1 式根島 19 19 13 34° 16.9' 139° 11.4' 7 M2.5 東京都 2 式根島 1 神津役場* 金長			
5月21日 20 15 04 34° 05.3' 139° 32.2' 0 M2.2 東京都 1 坪田			
5月22日 21 03 23 34° 12.8' 139° 16.2' 13 M2.8 (注) 03 23 34° 12.2' 139° 14.5' 15 M2.7 東京都 2 式根島 1 神津役場* 金長 22 03 59 34° 12.2' 139° 14.8' 14 M2.2 東京都 1 式根島			
5月23日 23 11 45 34° 16.0' 139° 13.8' 11 M2.5 東京都 1 式根島			
5月24日 24 12 46 33° 56.0' 139° 27.1' 17 M3.3 東京都 1 神着			
5月25日 25 00 27 34° 12.0' 139° 15.7' 13 M2.6 東京都 1 式根島 金長 神津役場*			

付表

2. 過去1年間の最大震度別の月別地震回数

<平成12年(2000年)5月~平成13年(2001年)5月>

	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計	記事
5月	60	26	4	1						91	
6月	1405	513	124	31	4					2077	3日:千葉県北東部(震度5弱1回)、7日:石川県西方沖(震度5弱1回、11回*)、8日:熊本県熊本地方の地震(震度5弱:1回、40回*)、26日~三宅島近海-新島・神津島近海(震度5弱1回、1,950回*)
7月	6173	1660	431	118	8	5	4			8399	三宅島近海~新島・神津島近海(震度6弱4回、震度5強5回、震度5弱7回、8,311回*)、2日:茨城県沖の地震(震度5弱1回、2回*)
8月	2676	837	257	79	8	2	2			3861	三宅島近海~新島・神津島近海(震度6弱2回、震度5強2回、震度5弱8回、3,762回*)
9月	138	53	11	3	1					206	三宅島近海~新島・神津島近海(震度5弱1回、134回*)
10月	664	311	107	16	5	1		1		1105	2日~奄美大島近海(悪石島西方沖:震度5強1回、5弱2回、46回*)、6日~:鳥取県西部地震と余震活動(震度6強1回、5弱2回、907回*)、8日~鳥取県西部地震の西方の地震活動(15回*)、三宅島近海~新島・神津島近海(44回*)
11月	126	67	10	6	1					210	鳥取県西部地震の余震活動(101回*)、14日~石垣島近海の地震活動(震度5弱1回、25回*)、三宅島近海~新島・神津島近海(18回*)
12月	115	37	8	4						164	鳥取県西部地震の余震活動(56回*)、三宅島近海~新島・神津島近海(36回*)
2001年1月	193	65	19	5	2					284	2日:新潟県中越地方(震度5弱1回)、4日:新潟県中越地方(震度5弱1回)、鳥取県西部地震の余震活動(28回*)、三宅島近海~新島・神津島近海(12回*)、兵庫県北部の地震活動(164回*)
2月	77	32	9	3	1					122	鳥取県西部地震の余震活動(19回*)、三宅島近海~新島・神津島近海(18回*)
3月	87	41	9	2		1	1			141	鳥取県西部地震の余震活動(18回*)、三宅島近海~新島・神津島近海(17回*)、芸予地震と余震活動(震度6弱1回、震度5強1回、28回*)
4月	65	27	11	3		1				107	鳥取県西部地震の余震活動(14回*)、三宅島近海~新島・神津島近海(16回*)、静岡県中部(震度5強1回)
5月	92	23	7	2						124	三宅島近海~新島・神津島近海(30回*)
2001年計	514	188	55	15	3	2	1	0	0	778	
過去1年計	11719	3643	996	270	30	10	7	1	0	16676	(平成12年6月~平成13年5月)

注) 「記事」欄の「*」は関連の地震で震度1以上が観測された地震の回数。「記事」欄には主に震度5弱以上を観測した地震、または活発な地震活動(震度1以上が10回以上)について記載した。
 平成9年(1997年)11月10日から、地方公共団体(秋田県、埼玉県、神奈川県(横浜市)、新潟県、愛知県、大阪府、奈良県、和歌山県、岡山県及び山口県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成10年(1998年)6月15日から、地方公共団体(群馬県、福井県、静岡県、三重県、島根県及び愛媛県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成10年(1998年)10月15日から、地方公共団体(青森県、山形県、茨城県、石川県、京都府、兵庫県、鳥取県、広島県、徳島県、熊本県、宮崎県及び鹿児島県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成11年(1999年)7月21日から、地方公共団体(東京都、長野県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成12年(2000年)1月12日から、地方公共団体(栃木県、千葉県、岐阜県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成12年(2000年)3月28日から、地方公共団体(滋賀県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成12年(2000年)7月18日から、地方公共団体(富山県、香川県、大分県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成13年(2001年)3月22日から、地方公共団体(佐賀県)が整備した震度計で観測された震度も含む。
 平成13年(2001年)5月10日から、地方公共団体(山梨県、神奈川県(川崎市))が整備した震度計で観測された震度も含む。

1991～2000年に震度1以上を観測した地震の最大震度別の月別回数

震度	1	2	3	4	5	6	7	計
1991年1月	40	20	8					68
2月	263	53	22	2				340
3月	213	66	25	5				309
4月	108	48	17	5				178
5月	43	21	5					69
6月	34	18	3	4				59
7月	33	14	4					51
8月	24	9	6	3				42
9月	37	17	2					58
10月	27	12	3	3				45
11月	35	15	8	2				60
12月	34	14	1	1				50
計	891	307	104	27	0	0	0	1329
1992年1月	36	13	8					57
2月	22	18	1		1			42
3月	24	13	7					44
4月	26	14	11	2				53
5月	33	14	7	1				55
6月	26	14	4					44
7月	43	19	11	1				74
8月	36	31	8	3				78
9月	139	77	20	8				244
10月	505	291	83	22	5			906
11月	134	72	24	2	1			233
12月	79	46	20	4				149
計	1103	622	204	43	7	0	0	1979
1993年1月	87	32	8			1		128
2月	41	22	7	1	1			72
3月	45	20	8					73
4月	38	20	3					61
5月	129	52	10	3	1			195
6月	63	26	9	1				99
7月	125	78	15	3	1			222
8月	53	23	8	5				89
9月	33	16	2	2				53
10月	29	13	2	1				45
11月	26	15	1	2				44
12月	202	12	4	2				220
計	871	329	77	20	3	1	0	1301
1994年1月	50	9	4					63
2月	35	14	4	1				54
3月	33	13	5					51
4月	28	20		1				49
5月	22	18	5	1				46
6月	30	13	2	4				49
7月	25	8	5	3				41
8月	20	11	7	2	1			41
9月	28	13	7					48
10月	138	48	17	2		1		206
11月	34	15	6					55
12月	42	20	9	3		1		75
計	485	202	71	17	1	2	0	778
1995年1月	156	80	28	9	1	1		275
2月	48	17	5	2				72
3月	41	23	6	1				71
4月	61	28	7	3				99
5月	68	51	11	3	1			134
6月	64	29	7	1				101
7月	53	8	7	3				71
8月	35	25	6					66
9月	76	30	14	1				121
10月	411	202	51	16	3			683
11月	62	30	4	1				97
12月	63	37	10	2				112
計	1138	560	156	42	5	1	0	1902

震度	1	2	3	4	5	6	7	計		
1996年1月	54	28	3	1				86		
2月	50	24	11	3				88		
3月	43	25	4	1	1			74		
4月	39	25	5					69		
5月	51	30	6	2				89		
6月	53	18	2	1				74		
7月	47	28	1					76		
8月	115	45	11	5	3			179		
9月	48	14	5	1	1			69		
震度	1	2	3	4	5弱	5強	6弱	6強	7	計
10月	134	55	11	6	1					207
11月	58	21	3	3						85
12月	39	23	4		2					68
計	731	336	66	23	5	0	0	0	0	1164
1997年1月	53	19	7	1						80
2月	57	20	5	2	1					85
3月	425	168	45	10	3	2				653
4月	122	41	14	3	1	1				182
5月	113	42	8	4			1			168
6月	75	22	5	2		1				105
7月	66	26	6	1						99
8月	42	14	4	1						61
9月	48	12	8	2						70
10月	65	28	6							99
11月	66	27	10	2						105
12月	56	15	11	2						84
計	1188	434	129	30	5	4	1	0	0	1791
1998年1月	62	28	14	2						106
2月	51	14	8	1						74
3月	40	12	6	2						60
4月	149	66	18	5						238
5月	112	27	14	3						156
6月	59	24	6	3						92
7月	69	22	5	1						97
8月	202	67	20	5	1					295
9月	94	42	11	1			1			149
10月	56	19	1							76
11月	58	23	9	3						93
12月	47	30	6	1						84
計	999	374	118	27	1	0	1	0	0	1520
1999年1月	42	26	3	2						73
2月	47	32	10	1	1					91
3月	85	28	12	5	1					131
4月	51	15	5	1						72
5月	42	19	5	3						69
6月	50	20	5							75
7月	60	33	9	1						103
8月	55	19	4		1					79
9月	35	12	2	1						50
10月	55	12	5	2						74
11月	42	27	7	3						79
12月	77	35	14	1						127
計	641	278	81	20	3	0	0	0	0	1023
2000年1月	53	26	8	2						89
2月	45	22	9	2						78
3月	645	368	153	45	2					1213
4月	113	55	11	5	1					185
5月	60	26	4	1						91
6月	1405	513	124	31	4					2077
7月	6173	1660	431	118	8	5	4			8399
8月	2676	837	257	79	8	2	2			3861
9月	138	53	11	3	1					206
10月	664	311	107	16	5	1		1		1105
11月	126	67	10	6	1					210
12月	115	37	8	4						164
計	12213	3975	1133	312	30	8	6	1	0	17678

震度観測点数の変遷は以下の通り。

- ～1995年4月12日：約150点
- 1995年4月13日～：約300点
- 1996年10月1日～：約600点
- 1997年11月10日～：約1,200点
- 1998年6月15日～：約1,500点
- 1998年10月15日～：約2,100点
- 1999年7月21日～：約2,270点
- 2000年1月12日～：約2,480点
- 2000年3月28日～：約2,530点
- 2000年7月18日～：約2,650点
- 2000年11月30日～：約2,670点

平成8年(1996年)10月に震度階級に変更があった。

平成8年(1996年)までは地震・火山概況による。平成9年(1997年)からは地震年報及び地震・火山月報(防災編)による。

この表と地震月報(1991年1月～1997年9月)の計数方法は一部異なる。

2001年5月に日本付近で発生した
M3.0以上の地震の震央分布図
地震の総数：466

